

平成24年度

事業計画及び予算書

公益財団法人静岡市文化振興財団



# 平成24年度 公益財団法人静岡市文化振興財団 事業計画

平成24年4月 1日から  
平成25年3月31日まで

## I 法人の目的（定款第4条）

当法人は、演劇、舞踏、美術、音楽、科学、生涯学習等の文化振興に関する事業を行い、市民が各種文化に触れる環境の整備と市民自身による文化創造活動を促進し、もって魅力ある静岡文化の創造、継承、発信に寄与することを目的とする。

## II 事業の方針

当法人では、法人の目的を自主的、主体的に達成していくため、「基本理念」及び「基本方針」を独自に策定し、各種事業の実施に取り組んでいる。この「基本理念」は、法人目的達成のための手段として実施する各種文化事業の基幹となる概念であり、その「基本理念」を具現化するために必要と考えられる様々な方策から共通概念を抽出し、それらを端的に表したものが「5つの基本方針」である。

また、より実効性のある事業を中長期的な視点により展開していくため、「平成23-27年度中期事業戦略」を策定し、当法人が5年間というスパンで取り組むべき「4つの戦略」を定め、それぞれの戦略ごとに「達成目標」及び戦略を実現するための「具体的な方策」を明示し、これらを軸とした事業展開に努めている。

### 【基本理念】

「魅力ある静岡文化の継承、創造、発展に寄与する」

### 【5つの基本方針】

「協働」：市民とともに

「事業」：感動を生み出す

「育成」：ともに学び、育つ

「環境」：文化活動をしやすい環境整備

「情報」：文化情報の拠点

### 【中期事業戦略】

「戦略1 市民から信頼される文化振興の専門機関として」

「戦略2 連携の推進」

「戦略3 事業の質の安定と向上」

「戦略4 事業継続のための資金の確保」

### Ⅲ 事業（定款第5条）

当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 文化に関する講座、セミナー及びシンポジウム
- (2) 文化に関する体験活動
- (3) 文化に関する相談及び助言
- (4) 文化に関する調査研究及び資料収集
- (5) ミュージアム等における展示事業
- (6) 文化に関する助成
- (7) 文化に関する表彰及びコンクール
- (8) 文化に関する公演
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### ■ 公益目的事業

当法人が実施する事業は、文化施設7施設（静岡市民文化会館、静岡市清水文化センター、静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館、静岡市東海道広重美術館、静岡市清水文化会館）、生涯学習センター11施設（葵生涯学習センター、西部生涯学習センター、南部生涯学習センター、東部生涯学習センター、長田生涯学習センター、北部生涯学習センター、藁科生涯学習センター、大里生涯学習センター、西奈生涯学習センター、駿河生涯学習センター、美和生涯学習センター）、静岡市南部勤労者福祉センター及び静岡市小鹿老人福祉センターの合計20施設を主な活動拠点として実施しており、各々特徴ある文化事業を実施している。これら全ての施設については、各種講座やコンサート等の文化事業を実施する方策として、当法人が静岡市から指定管理者としての指定を獲得し、運営に当たっている。

また、市民ギャラリー、中勘助文学記念館及び旧マッケンジー住宅についても、同様の理由に基づき、静岡市から管理運営業務を受託し、事業を実施しているものである。

これらの事業はすべて定款に掲げる法人目的を達成するために実施するものであるため、公益目的事業として一括している。

なお、当法人が実施する事業細目は以下のとおりである。

#### 1. 文化活動振興事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 「Hotひといきコンサート」の開催
  - イ 「オーケストラ鑑賞事業」の開催
  - ウ 「竹久夢二展」等の開催
- (2) 普及啓発事業
  - ア 伝統芸能ワークショップ「伝統文化寺子屋」等の開催
- (3) 市民の自発的な文化活動促進事業
  - ア 「市民文芸」の募集及び文芸誌の発行
  - イ 「静岡市民芸能発表会」の開催

- (4) 調査研究事業
  - ア 市が所蔵する美術収蔵品の調査と維持
  - イ 中勘助文学資料の調査研究等

## 2. 文化情報事業

- (1) 普及啓発事業
  - ア 静岡文化情報「街かど」の発行
  - イ 静岡文化情報誌「しずおかイベントニュース」の発行

## 3. 文化活動助成事業

- (1) 市民の自発的な文化活動促進事業
  - ア 市民の文化振興事業に対する助成金の交付
- (2) 支援育成事業
  - ア 「ストリート・フェスティバル・イン・シズオカ」への開催支援

## 4. 中勘助文学記念館事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 朗読会、コンサート等の実施
- (2) 普及啓発事業
  - ア 文学講演会等の実施

## 5. 旧マッケンジー住宅事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 読み聞かせ会、コンサート等の実施
- (2) 普及啓発事業
  - ア 講演会、講座等の実施

## 6. 静岡市民ギャラリー事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 市民との共同による展覧会の実施

## 7. 静岡市民文化会館事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 魅力ある鑑賞事業の開催
  - イ 交流機会促進のための「ロビーコンサート」等の開催
  - ウ 交流機会促進のための「美術展」等の開催
- (2) 普及啓発事業
  - ア 聴講型普及事業-「歌舞伎講演会」の開催

- イ 聴講型普及事業-「アートマネジメントセミナー」の開催
- ウ 体験型普及事業-体験型ワークショップ、講座等の実施

## 8. 静岡市清水文化センター事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 魅力ある鑑賞事業の開催
  - イ 清水文化センター閉館記念展示事業の実施

## 9. 静岡音楽館事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア コンサートシリーズの開催-国内外の一流演奏家たちによるコンサートの開催
  - イ コンサートシリーズの開催-「AOI・レジデンス・クワルテット」の開催
  - ウ コンサートシリーズの開催-「アマチュア・アンサンブルの日」の開催
  - エ コンサートシリーズの開催-「『静岡の名手たち』オーディション合格者によるコンサート」の開催
- (2) 普及啓発事業
  - ア 各種音楽関連講座、講演会の実施
  - イ 「子どものための音楽ひろば」の開催
  - ウ 「どこでもAOI『野平一郎ピアノ・ミニコンサート』」の開催
  - エ 「校内音楽会」の開催
- (3) 支援育成事業
  - ア 「静岡の名手たち」オーディションの開催
  - イ 「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業の実施
  - ウ 「ピアノ伴奏法講座」の開催
  - エ 「静岡リコーダー・アンサンブル・コンテスト」への開催支援

## 10. 静岡科学館事業

- (1) 普及啓発事業
  - ア 聴講型普及事業の実施-「サイエンスカフェ」、「先端科学者講演会」等
  - イ 体験型普及事業の実施-「展示物運營業務」、「サイエンスショー」、「テーブルサイエンス」、「科学工作」等
  - ウ 展示事業の実施-「企画展」
  - エ 科学技術文化普及のためのイベント等の実施-「サイエンス・フェスティバル」等
  - オ 科学技術文化普及のための共催事業の実施-「静岡県学生児童発明くふう展」等
  - カ 「子ども環境デー フェスタ!エコキッズ」の共催
- (2) 支援育成事業
  - ア 科学技術文化の担い手育成・活用事業の実施-「科学コミュニケーター育成講座」等

イ 未来の科学者育成事業の実施－「科学の広場 in る・く・る」、「キッズミーティング」、「理数大好き教室」等

ウ 「自由研究相談会」の実施

エ 科学活動支援及び人材育成のための共催事業の実施－「静岡県高校生ロボット競技大会」等

(3) 連携推進事業

ア 連携による聴講型普及事業の実施－「リアルサイエンスマイスター講座」、「科学遊びワークショップ」等

イ 連携による体験型普及事業－「科学館学習」、「移動科学館」、「教員のための博物館の日」等

ウ 「しずおか科学技術月間」の実施

エ 「理数学習新教材教具体験フェア」の開催

オ 「川自慢大賞」の実施

カ 「サイエンスピクニック」の実施

## 11. 静岡市生涯学習センター事業

(1) 市民の自発的な文化活動促進事業

ア 「生涯学習センターまつり」の実施

イ 展示事業の実施

(2) 普及啓発事業

ア 講座、講演会等の実施

(3) 支援育成事業

ア サークル育成、まちづくりを推進するための人材育成

## 12. 静岡市南部勤労者福祉センター事業

(1) 市民の自発的な文化活動促進事業

ア 「来・て・こ健康スポーツ体験まつり」の実施

(2) 普及啓発事業

ア 講座、講演会等の実施

## 13. 静岡市小鹿老人福祉センター事業

(1) 市民の自発的な文化活動促進事業

ア 「同好会活動発表会」の実施

イ 「同好会作品展示」の実施

(2) 普及啓発事業

ア 講座、講演会等の実施

#### 14. 静岡市東海道広重美術館事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 展覧会の実施
- (2) 普及啓発事業
  - ア 聴講型普及事業－講演会等の実施
  - イ 体験型普及事業－「浮世絵教室」等の実施
- (3) 調査研究事業
  - ア 調査研究、情報収集の実施
- (4) 連携推進事業
  - ア 「ゆい年賀状版画コンクール」の共催

#### 15. 静岡市美術館事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 展覧会の実施
- (2) 普及啓発事業
  - ア 聴講型普及事業-講演会等の実施
  - イ 体験型普及事業-ワークショップ等の実施
- (3) 調査研究事業
  - ア 調査研究、情報収集の実施

#### 16. 静岡市清水文化会館事業

- (1) 文化鑑賞事業
  - ア 魅力ある鑑賞事業の開催
  - イ 展示事業の実施

#### 17. 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業

- (1) 普及啓発事業
  - ア 講演会シリーズ等の実施

#### ■ 収益事業

##### 1. 公益目的で実施しているミュージアムショップ、自動販売機設置及びCD頒布

- (1) ミュージアムショップの設置
- (2) 清涼飲料水等の自動販売機の設置
- (3) オリジナルCDの頒布

##### 2. 公益目的で実施している利用料金徴収事務

■事業計画詳細

(文化活動振興事業)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	HOTひといきコンサート	市民が質の高い音楽を気軽に鑑賞できるよう、市役所ロビー等公共施設を会場として開催するコンサート。	市民が音楽の生演奏の魅力に触れると共に、市役所等への親近感を感じるようにする。	毎月(月2回)
2	静岡市民文芸	市民の文芸振興を図るための市民からの投稿による文芸コンクールの開催と文芸誌の発行。	市民の文芸活動発表の場として機能することで、日々の文芸活動の充実を図る一助とする。	募集:5~6月 表彰式:1月
3	市民芸能発表会	市民の芸能活動の発表機会を提供するための日舞・ダンス等芸能活動の発表会。	市民が日頃行っている芸能活動発表の場として機能することで、日々の芸能活動の充実を図る一助とする。	11月
4	伝統文化寺子屋	子どもを中心とした市民に伝統芸能に触れる機会を提供するワークショップ。	伝統芸能を楽しむためのポイントを体験を通じて伝え、参加者が伝統芸能に興味を持って接することができるようにする。	8月
5	オーケストラ鑑賞	子どもを対象としたプロのオーケストラによるクラシック音楽入門の演奏会。	生のオーケストラに触れる機会を提供することで、子どもたちが質の高い音楽に触れる機会を提供する。	9月
6	竹久夢二展・市美術収蔵品展示	蒲原・五十嵐邸を会場とした、市収蔵品である竹久夢二作品の展覧会。	市が所蔵する竹久夢二作品の鑑賞機会を提供するとともに、重要文化財の周知及び文化的な活用を行う。	4月、10月
7	静岡市美術収蔵品調査	静岡市が収蔵する美術作品の調査研究。	市が所蔵する美術作品の調査研究を行い、今後の文化的な活用につなげる。	年間
8	中勘助文学研究・文芸推進事業	中勘助の文学作品の研究と記念館の活用による文芸活動の推進を行う。	中勘助文学記念館への寄贈品の調査研究を行う。また、静岡市の今後の文芸推進についての方向性を明確にする。	年間

(文化情報事業)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	文化情報誌「街かど」の発行	市内各地域の文化情報の収集及びそれを基にした情報誌を発行する(年1回発行、7,000部)。	取材地区の文化情報について収集、発信することで、市民が市内各地域の文化情報を得る機会を設ける。	7月予定
2	しずおかEVENT NEWSの発行	財団及び財団管理施設の事業・イベント情報誌を発行する(毎月発行、各7,000部)。	取材地区の文化情報について収集、発信することで、市民が市内各地域の文化情報を得る機会を設ける。	毎月

(文化活動助成事業)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	文化振興事業費助成制度	市民による文化事業を支援するための助成金制度の運用。	「市民が文化に触れる機会を提供する」事業の実施者を支援する。	募集4月~5月
2	ストリートフェスティバル・イン・シズオカ実行委員会支援	ストリートフェスティバルを独力で実施できるよう実行委員会を支援。	実行委による自主運営に向けた方策の模索等を行い、独立した市民活動の成立を目指す。	11月下旬

(中勘助文学記念館)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	中勘助文学記念館顕彰事業	中勘助文学を題材とした文学講演会等の事業。	中勘助文学及び中勘助文学記念館についての周知を図り、市民による文学活動の促進の一助とする。	10月

(旧マッケンジー住宅)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	旧マッケンジー邸顕彰事業	旧マッケンジー邸を会場とし、施設の周知及び顕彰を兼ねた講演会等文化事業。	旧マッケンジー邸の周知と、マッケンジー夫人の功績の顕彰することで、市民の文化財に対する理解を深める。	11月

## (市民ギャラリー)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	市民との共同による展覧会事業	市民団体との共催により、市民ギャラリーのPRを兼ねた絵画展を行う。	市民ギャラリーの存在を市民に広く周知することで、市民の文化活動の環境整備の一助とする。	11月

## (静岡市民文化会館)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	松竹大歌舞伎	全国公文協統一企画松竹大歌舞伎の公演。	歌舞伎の鑑賞を通じ、日本の古典芸能に親しむ。	9/2
2	演劇ネットワーク事業	演劇の公演と演劇の手法を活用した地域交流プログラム(ワークショップ等)を他の公共ホールと共同・連携して行う。	地域の演劇分野における創造的で文化的な環境づくりと公共ホールのネットワークづくり。	10/23～10/28
3	演劇カタログ	市内で活動する演劇人との協働により、演劇事業(市内劇団の連携公演・ワークショップなど)を行う。	地域の演劇分野における創造的で文化的な環境づくりと市内劇団や関連団体とのネットワークづくり。	2月
4	エスパルスオフィシャルダンスミュージカル制作事業	市民クラブとして誕生した「エスパルス」を題材に静岡出身・在住アーティスト、市民によって作成するダンスミュージカル。公演は25年度。	静岡の文化的資源・人材の発掘、育成と静岡独自文化の発信。	年間
5	静岡コミュニティダンスプロジェクトvol.2	子どもからシニア世代までの市民が参加するダンス作品制作の他、教育・福祉機関へのアウトリーチを行う。	経験・年齢・性別・ハンデキャップに関わらず、誰もがダンスを楽しむ環境を創造する。	年間
6	連携事業 松竹大歌舞伎事前講演会	生涯学習センターなどで、松竹大歌舞伎を分かりやすく、事前に解説する講演会。	歌舞伎文化を多くの方に親しんでいただくことで、古典芸能を普及する。	7月

## (清水文化センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	鑑賞事業(仮称)	ロビーやホールを使用したコンサートや古典芸能の公演等、舞台鑑賞事業を実施予定。	広く市民一般に対して、コンサートや古典芸能等、各種舞台芸術文化に触れる機会を提供し、市民の文化レベルの向上を図ることを目的とする。	7月
2	展示事業(仮称)	清水文化センターの‘閉館記念事業’の一環として、清水区を拠点に活動する文化団体の有志との連携により、当該施設の展示室やロビー等を会場とした展示事業を実施予定。	美術、書道、華道、クラフト等、諸般の文化活動に励んでいる市民団体及びグループに対しては、日頃の活動成果を発表する機会を提供するとともに、来館者に対しては各種文化に触れる機会を提供し、各種文化を広く一般に普及することで、市民の文化レベルの向上を図ることを目的とする。	7月

## (静岡音楽館)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	森麻季 ソプラノ・リサイタル	アンケートで要望の多い日本を代表するソプラノ歌手によるリサイタル。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	5月
2	中野振一郎 チェンバロ・リサイタル	日本を代表するチェンバロ奏者によるランチタイム・コンサート。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	5月
3	アレクサンドル・タロー ピアノ・リサイタル	世界的なピアニストによる多彩なプログラムのリサイタル。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(外来アーティストの積極的な招聘)。	6月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
4	七夕のまつりに	「七夕」をテーマに、朗詠、義太夫、琉球舞踊、箏歌を愉しむ。	伝統音楽や民俗芸能に触れる機会の充実、伝統文化に対する意識の向上(特色ある事業の実施)。	7月
5	第17回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサート	オーディションによってみいだされた地域の音楽家を紹介。	発表機会の提供による地域の音楽家の支援。	9月
6	クロード・ドラングル サクソフォン・ライブⅡ “Next”	委嘱作品を含み、エレクトロニクスを用いる。サクソフォンのカリスマ的存在によるコンサート。	現代の音楽、作曲家への積極的支援による創造活動の継承とその国際的共有(外来アーティストの積極的な招聘)。	10月
7	ウィーン・フィルのメンバーとの三重奏	世界最高のオーケストラ、ウィーン・フィルのメンバーと静岡音楽館AOI芸術監督による三重奏。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(外来アーティストの積極的な招聘)。	10月
8	庄司紗矢香 ジャンルカ・カシオーリ デュオ・リサイタル	世界的に活躍するヴァイオリニストとピアニストの共演。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	11月
9	アマチュア・アンサンブルの日♪	静岡のアマチュア・アンサンブルが無審査で多数出演、8時間にもおよぶコンサート。	地域のアマチュア演奏家への発表機会の提供(特色ある事業の実施)。	11月
10	AOI・レジデンス・クワルテット	静岡音楽館AOI専属弦楽四重奏団によるコンサート。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	11月
11	ジャパン・ギター・カルテット	福田進一、村治佳織、大萩康司、鈴木大介ら日本のトップ・ギタリストたちによる四重奏。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	11月
12	クリスマス★コンサート《ピーターとおおかみ》	芸術監督、企画会議委員ほか、静岡音楽館AOIにゆかりのアーティストたちが出演。	親しみやすいプログラムをつうじて、芸術監督の存在や「静岡の名手たち」などの事業への理解を深める。	12月
13	東京都交響楽団／ベートーヴェン名曲選	好評の「オーケストラを聴こう」シリーズ。ベートーヴェン:交響曲第7番ほか。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	1月
14	藤原道山 尺八リサイタル	声望ある気鋭のアーティストによるランチタイム・コンサート。	伝統音楽や民俗芸能に触れる機会の充実、伝統文化に対する意識の向上。	2月
15	ストークロ・ローゼンバーク・トリオ&ティム・クリップハウス	ギターをメインにヴァイオリンをゲストに迎えたジャズ・ライブ。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(外来アーティストの積極的な招聘)。	2月
16	野平一郎:《進化論》×W.A.モーツァルト:《レクイエム》	静岡が世界に誇る静岡児童合唱団が、野平一郎の合唱曲とW.A.モーツァルトの《レクイエム》ほかを演奏。	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供(質の高い事業の推進)。	3月
17	関連講演会-1	「コンサートシリーズ」に関連した講演会。	「コンサートシリーズ」に対する理解をより深める。	未定
18	関連講演会-2	「コンサートシリーズ」に関連した講演会。	「コンサートシリーズ」に対する理解をより深める。	未定
19	関連講演会-3	「コンサートシリーズ」に関連した講演会。	「コンサートシリーズ」に対する理解をより深める。	未定
20	第14回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業(審査)	平成25年度に実施する「企画募集」事業を募集し、審査する。	地域の音楽家の支援。	上半期
21	第13回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業 真田美恵奈 ピアノリサイタル	平成23年度の募集・審査において採択された「企画募集」事業。ベートーヴェンのピアノ・ソナタをプログラム。	地域の音楽家の支援。	10月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
22	第14期「子どものための音楽ひろば」	合唱、「音あそび」、「リズムあそび」、体操、コンサートの鑑賞など全24回の講座を実施。	音楽を中心とした総合的な体験により、子どもたちの豊かな感性を養う(特色ある事業の実施)。	年間
23	第7期ピアノ伴奏法講座	全国から受講生を募集し、「アンサンブルができるピアニスト」を養成する。	プロフェッショナルな芸術家の育成と地域のピアニストへの啓発(特色ある事業の実施)。	年間
24	第17回「静岡の名手たち」オーディション	静岡の音楽家たちにとって登竜門的なオーディション。鍵盤楽器、管楽器、邦楽、アンサンブル部門を実施。	地域の新しい人材の発掘。	5月
25	静岡の名手たち(アウトリーチ)	「静岡の名手たち」合格者が静岡音楽館AOI以外でコンサートに出演。	「静岡の名手たち」合格者を支援・育成しながら、クラシック音楽の鑑賞の機会を提供(「しずおか文化」を積極的に発信)。	年間
26	静岡・室内楽フェスティバル2012	静岡音楽館AOIを中心に、室内楽のコンサートを集中的に展開。	文化活動拠点のネットワーク化を図り、都市空間を活かした事業の実施により街かどの芸術空間を創出。	10月、11月
27	どこでもAOI 野平一郎 ピアノ・ミニコンサート	静岡市内の小中学校で静岡音楽館AOI芸術監督がピアノのコンサートを行う。	教育機関との連携による青少年の文化活動の推進。	未定
28	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業	「七夕の美術」展ミュージアム・コンサートなどを実施。	音楽・科学・美術の境界を超え、総合的な文化空間を創造する。	未定
29	生涯学習センター連携事業	「静岡の名手たち」合格者によるコンサートや、静岡音楽館AOI学芸員による講演会など。	生涯学習施設を地域における文化普及の拠点とした連携事業の展開。	年間
30	第39回静岡リコーダー・アンサンブル・コンテスト	静岡リコーダー教育研究会との共催。金賞受賞者は第34回全日本リコーダー・コンテスト(全国大会)に推薦される。	発表の機会の提供、および、市民と一体となった文化事業の促進。	未定
31	CD販売事業	静岡音楽館AOIが制作したCDを販売。	CDをつうじて音楽の鑑賞機会を提供、「しずおか文化」を積極的に発信。	年間

(静岡科学館)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	サイエンスショー	大型実験の演示とコメントを通して、身近な事物や事象に含まれる科学的な要素を紹介・解説し、理解を図る。	ショーの要素を充実させ、参加型のショーとすることで、市民に日常生活の中での科学・技術について興味・関心を持たせる。	4月～3月
2	サイエンスナビゲーター	①展示物支援 ②「わくわく科学工作」支援 ③科学イベント支援 ④各種教室支援。	当館事業・運営への市民参加(市民参画)を促すための手立てとし、サイエンスコミュニケーターとして活動の場を広げていけるよう支援する。	随時
3	サイエンスフェスティバル	民間・企業・教育機関などから、さまざまな科学分野に関する体験ブースの出展を受け入れ、盛大な科学イベントとして実施する。	実験・観察、科学的な工作等を通し、科学の不思議さや楽しさを実感することにより思考力に富み創造性豊かな青少年の育成を図る。	8月
4	テーブルサイエンス	8階体験ステージにて月ごとのテーマに沿った実験を行う。スタッフの会話を重視した実験を行う。	科学的な要素を含む題材を中心に、実験や対話を通して子どもの科学への興味・関心を高め、科学的な事象に対する見方・考え方を養う。	4月～3月
5	サイエンスフェアリー	女性サイエンスパフォーマーを対象として、科学のネタ、ストーリー、ショーとしての見せ方などを専門の講師による講座を展開する。	女性サイエンスパフォーマーのサイエンスショーにかかる諸スキルの向上及び女性サイエンスパフォーマー同士のネットワーク構築を目指す。	9月
6	プレミアムサイエンスショー	外部講師を招聘し、9階イベントホールにて、160名程度を対象に大型ショーを行う。	質の高いサイエンスショーの展開により、市民の科学への興味・関心を高めるとともに、教員研修の場とし、授業力向上を図る。	5月～3月
7	るくるワークショップ	自由参加形式のワークショップとし、プログラムに応じて館内の適所を会場として実施する。	本館職員の得意分野における知見等を活かして体験プログラムを企画・提供し、市民に科学への興味・関心を深めてもらう。	年10回

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
8	るくる自然観察会	県自然観察指導員会中部支部の協力を得て、市街地周辺の水辺や公園などへ出向いて、各回のテーマに沿って自然観察を行う。	野外で自然や生物のようすを直接観察する機会を提供し、身近な環境への市民の関心の高まりを促す。	年5回
9	わくわく科学工作	手軽に加工できる材料を使い、しくみや機能に科学的要素を取り入れた工作プログラムを、月別のテーマで市民に提供していく。	科学的な要素を含み、かつ手軽に体験できる工作プログラムを提供することで、ものづくりや科学遊びを通じて市民に科学の楽しさを紹介する。	4月～3月
10	科学館学習・移動科学館	教育課程に基づいて当館を利用する学校団体に対して、学習支援を行う。また遠隔地等の学校に対して館職員が訪問し、学習支援を行う。	学校等の科学館利用の促進を図るとともに、理科教育の振興を図り、児童・生徒と科学への興味関心をもたせる。	随時
11	科学教室	専門の講師や当館のスタッフにより市民に質が高く充実した内容の、教室系の実験・観察・工作を提供する。	子どもの科学的探究心を伸ばし、思考力を育成する。	年7回
12	生涯学習センター連携	セミの抜け殻調査など、環境系のプログラムを軸に、地域に合わせた実施形態を各センターと協議し、開催する。	職員の専門性やコンテンツを広域展開し、より多くの市民への科学普及を目指す。生涯学習センターを文化活動展開の拠点とする。	年5回
13	自由研究相談会	イベントホールでの自由研究の進め方ワークショップや、図書コーナーでの自由研究に関わる個別指導。	子どもの自由研究の取り組みを支援することにより、科学的探究力の向上を図る。	8月
14	展示業務	他の施設、他団体との連携による展示のほか、時事ニュースや、館の行事で得られる情報なども活用し、情報提供を行う。	科学分野に関連した情報、時事ニュースなどを、パネルや標本などを使って市民に幅広く紹介する。	随時
15	理数系教員指導力向上研修講座	小学校、中学校の内容に関する体験型の研修会。	小・中・高等学校の教員や学校関係者が、問題解決的・体験的な授業の在り方や教材の用い方を研修し授業改善に資する。	6月、9月
16	サイエンスマスターレベル7認定式	認定式の実施および認定証の授与、記念品の贈呈。	子どもたちの科学に親しみ、学び続ける心を育て、科学的文化の醸成を目指す。	7月、11月
17	しずおかサイエンスアドベンチャー	水生生物の観察採集、動物園ウォッチング、実験等、静岡科学館を中心に静岡市内の施設で科学的探究活動を行う。	自然や施設での体験活動を通して、身近な自然のすばらしさを実感し、科学的な興味・関心・態度を育成する。	5月～2月
18	体験型科学教育講座	体験型科学教育プログラムGEMSカリキュラムの体験実習。学習指導要領へ位置づけ、授業での展開につなげる。	小・中・高等学校の教員、教員志望の大学生を対象に、新学習指導要領の目指す理数教育のあり方を主体的・体験的な研修を通して学び、教師の指導力・授業力の向上を目指す。	8月
19	科学遊びワークショップ	幼児期につけさせたいサイエンスリテラシーに関する講義を行う。科学工作や実験を参加者が体験し、科学的要素を見出す。	幼稚園教諭及び保育士や学校関係者が科学への興味・関心をより深め、子どもの科学的な思考力や感性を育てる指導力を身につける。	6月、7月、9月
20	サイエンス玉手箱	教員や科学愛好家などの市民が、市民に科学の不思議さ、楽しさ、面白さを体験するワークショップを行う。	幅広い分野の出展者による科学実験・観察や科学工作などの体験を通して、参加者の科学への興味、関心を広げる。	4月～3月
21	理数大好き教室	「理科大好き」な児童・生徒を対象に、科学領域における探究的な学びをサポートする講座。	言語活動の充実を高めるために自由研究論文を手段として用い、完成させる過程で、児童・生徒の探究的・問題解決的な能力を育てる。	5月～2月
22	カプラ事業	カプラを常設するとともに、その基本的な技能を教えるワークショップや、造形大会を実施する。	カプラ(積み木)による創作を通して、市民の造形に対する興味・関心を育成し、創造力や思考力を高める。	学校長期休業期間(40日間程度)
23	企画展	テーマを定め、大規模な体験型の展示を長期間行う。	市民の科学に対する興味・関心を広げるとともに、より深い専門的な知識獲得や思考力伸長を目指す。	1月～2月
24	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業	静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館が持つ専門性を活かし、総合的な文化発信のためのプログラムを開発、実施する。	音楽、科学、美術の境界を超え、総合的な文化空間を創造する。	6月、7月
25	理数学習新教材教具体験フェア	各企業・団体が開発した新教材・教具の展示会や、教材・教具を使った教員研修ワークショップ。	小・中・高等学校の教員や学校関係者が、各企業や団体等が提案する教材・教具を体験し授業への活用方法を探り授業改善に資する。	10月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
26	スーパー土団子ワークショップ	よく光り形のよい土団子を作るための技能を身につけるワークショップや、その技能を用いた競技会を実施する。	土団子づくりの科学的側面に触れながら、幼児から大人までの幅広い市民の科学に対する興味・関心を広げる。	8月
27	科学コミュニケーター育成講座	講義を聴講したうえで、それを解釈して他に伝えるスキルを訓練するワークショップを開催する。	最先端の事項を含む科学技術を適切に伝える人材を育成する。科学を伝えるためのイベントの企画・展開をするスキルを養う。	年18回
28	サイエンスピクニック	ブース形式での活動発表や参加者を含めた市民への情報啓発として、先進地の活動家や研究者などを招いた講演など。	地域で活動する自然・科学系の市民グループが活動成果の発表や情報交換などを通じ、取り組みを一層楽しみ、深めるための機会とする。	3月
29	しずおか科学技術月間	市民と実践者をつなぐスタンプラリーの実施と、実践者間のネットワークを広げるための説明会と成果報告会を実施する。	科学コミュニケーション活動を展開していく手立ての一つとして、実践者同士の連携を深める場を創出し、静岡における科学技術文化を醸成させる。	8月
30	とび出せ！企業・研究室	科学館における実験や工作を取り入れた体験の提供や、研究室を訪問し最先端の研究の場を見学する。	科学技術の多様性を紹介するとともに、研究者の職業選択の経緯を尋ねる機会を設けキャリア教育の機会とする。	年10回
31	ネットワーク構築	調査、連携の深化などを目的とした職員出張および有識者招聘のための出張、先進的科学的連携推進事業の周知のための取り組み。	先進的科学的連携推進事業を遂行する際の情報収集及び発信。	随時
32	高校生と子どもたちが出会う「科学の広場 in する・く・る」	高校生が市民に向けて実験や工作などのブースを展開し、科学コミュニケーションについて理解を深める。	高校生の科学への興味・理解・表現力を向上させると共に、科学コミュニケーション活動を行う高校生同士が交流を深める。	12月
33	科学茶房「せんたん」	サイエンスカフェスタイルで行い、講師の専門に関わる話題を提供し、講師と参加者・参加者同士の双方向のコミュニケーションの場とする。	科学技術をテーマに市民と専門家の双方向性を持った意見交換を促進することで、市民の科学への社会的な理解を深める。	6月、10月
34	市民調査	平成22年度に行った市民調査を再度行い、科学技術や科学コミュニケーションに関する市民の意識の変容を探る。	先進的科学的連携推進事業の取り組みの成果の市民への浸透の度合いを測る。	10月
35	先端科学者講演会「サイエンス・ホライズン」	国内外で活躍する研究者を招いて、講演会を行う。	市民に先端科学技術の諸分野に触れる機会を提供し、理解増進を図るとともに、当該分野の社会における価値・役割を紹介する。	年2回
36	教員のための博物館の日 in 静岡	学校と博物館等施設との関わりを議論するためのシンポジウムの開催や市内各施設の教育資源を紹介するための展示会や実験工作教室。	市内の各施設の教育資源を紹介することにより、教員の理科指導力の向上に資するとともに、理科授業における施設利用の機会を広げる。	9月
37	連携推進委員会	大学関係者、まちづくりの専門家などの有識者や行政担当者からなる委員会を組織する。	静岡にある社会教育施設をはじめ、大学や企業、学校、NPOなどの各組織と効果的に連携を組むための方針を策定する。	年3回
38	キッズミーティング	企画展に関連した内容について話し合ってもらい、発表してもらおう。また、その内容に関する子どもたち向けのワークショップを開催する。	児童・生徒の静岡科学館事業への参画機会とし、科学コミュニケーションについて意識を向けさせる。	11月
39	行政機関連携事業	消防や警察などとの共催。活動の紹介や実験を通して科学的関連について学ぶ。	日常生活の中に科学の原理が活用されていることを伝える。	11月
40	キッズ電気教室	電気を正しく使うための知識を伝えるとともに、簡単な電池の製作実験を行う。	社会や生活において科学が使われていることを実感し、科学に関わる興味・関心・態度を育成する。	8月
41	ガールスカウト展	科学的な要素を含む簡単な工作や遊びをブース展開する。	身近な自然の素材等を使った工作や実験を通して、体験を通して子どもの科学への興味・関心を育てる。	3月
42	静岡かがく特捜隊ワークショップ	子ども科学新聞の掲示や子どもスタッフによる実験ブースの展開。	市民に科学に関わる情報を伝えるとともに、簡単な実験・工作により市民の科学への興味・関心を広げる。	3月
43	みらい子育てネット静岡市ワークショップ	みらい子育てネット静岡市による子ども向け工作等のワークショップ。	子どもに関わる人々のネットワークを広げるとともに、市民の科学への興味・関心を育てる。	8月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
44	しずおか「夢」デザインコンテスト作品展	「こんなものがあつたらいいなと考える」アイデアを募集し、特別賞を受賞した試作品とともに応募作品を展示。	市民の創造力を高め、ものづくりに対する興味・関心を広げる。	5月
45	静岡県児童生徒木工工作コンクール作品展	静岡県内より出品された児童・生徒の木工作品を展示するとともに、簡単なものづくり教室を行う。	木工工作への興味・関心を高め、ものづくりへの意識向上を図る。	11月
46	発明くふう展・絵画展	静岡県内より出品された児童・生徒の発明工夫作品や未来の科学への夢絵画を展示する。	発明展：科学への関心を育み想像力の伸長を図る。絵画展：科学に対する関心を高め、想像力の育成伸長を図る。	11月
47	ETロボコンフェスタin静岡	東海にエントリーしたチームによるETロボコン大会やロボットに関わるレクチャー。	市民のロボット工学への興味・関心を高め、生活の中での意識の向上を目指す。	10月
48	しずおか環境を学ぶ会	静岡県立大学環静会と共催で実施。実験を通して、高度な科学の知識に触れる機会を提供する。	市民がより専門的な科学研究の一端にふれる機会を設けることで、科学への興味関心・態度の拡大を図る。	6月
49	静岡県高校生ロボット競技大会	静岡県内の工業高校が出場するロボットの大会。電子工学科中心のMCR部門、制御工学科中心のPLC部門。	高校生のロボット工学への知識の拡大と技術の向上を目指すとともに、将来の進路選択につながるキャリア教育の場とする。	12月
50	静岡県高等学校生徒理科研究発表会県大会	県内の高校自然科学系部活動によるパネル展示と審査と県東・中・西部各支部大会で選ばれた高校による発表会。	高校生の科学研究に対する意識の向上を図るとともに、理数系の優れた人材育成の場とする。	11月
51	環境学習成果発表会	キッズISO認定校表彰式、環境学習成果発表会、サイエンスショーの実施や環境学習の壁新聞掲示。	環境教育への意識の拡大と啓蒙を図り、地球規模で環境保全を考える市民を育成する。	2月
52	やつやまワールド	市街地にある自然豊かなフィールドを紹介する趣旨で、谷津山の自然・歴史文化の魅力と、その現状・課題を伝える。	身近な自然に親しみ自然の素晴らしさを体感するとともに、体験を通して子どもの科学への興味・関心を育てる。	3月
53	川自慢大賞	川や海、水辺を拠点に活動している団体や個人の活動内容発表会と交流会。	「川」や「水」をキーワードにした自然環境教育への意識の拡大を図り、地球規模で環境保全を考える市民を育成する。	2月
54	静岡地区公私立保育園絵画展	静岡市の保育園の園児が制作した絵画や科学的な要素を含んだ造形物を展示する。	静岡市の保育園の相互の交流を図るとともに、ものづくりへの意識の向上を目指す。	9月
55	学校等研修支援	科学館の専門性を生かした研修会や実習の受け入れと講師等の派遣。	科学館の資源を活用し、理数系教員等の指導力向上を図るとともに、科学館と教育現場との連携を促進する。	随時
56	科学普及事業	地域団体との共催等で行われる科学普及事業。	市民との協働により、市民の科学への理解を深める。	随時

(葵生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学城内学級	高齢者向けの総合学習講座。さまざまな分野の学習と仲間づくりを行う。	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがいを創出する。	年間
2	高齢者学級みのり大学青葉学級	高齢者向けの総合学習講座。さまざまな分野の学習と仲間づくりを行う。	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがいを創出する。	年間
3	高齢者学級みのり大学草深学級	高齢者向けの総合学習講座。さまざまな分野の学習と仲間づくりを行う。	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがいを創出する。	年間
4	あおい講座	就労する知的障害者が実生活に必要な知識を学ぶ。	就労する知的障害者が、実生活に必要な教養及び知識を学ぶことで、社会生活への適応能力を向上させる。	年間
5	するが青年講座	手話学習を通して聴覚障害者と健常者の交流を促す。	手話技術の学習を通して聴覚障害者を取り巻く社会問題を理解するとともに、ノーマライゼーション社会実現の一端を担う。	年間

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
6	葵生涯学習センター運営協議会	協議会委員に運営計画及び実施の報告を行い意見を募る。	地域関係者、学校関係者、学識経験者等から施設運営に対する意見をもらうことで、より良い運営に務める。	6月～2月
7	葵生涯学習センターだより発行事業	センターだよりの発行に関する計画及び実施。	葵生涯学習センターの利用案内を作成し、より多くの市民に情報を提供することで、施設利用の促進を図る。	年間
8	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	葵生涯学習センターとの協働講座の実施を希望する団体を募集する。	地域の生涯学習活動を促進し、サークルの人材育成を図るための契機とする。	年間
9	協働企画運営講座	葵生涯学習センター利用団体との協働企画運営講座を実施する。	地域の生涯学習活動を促進し、サークルの人材育成を図る。	9月
10	市との共催①	静岡市との共催講座。	静岡市の取り組みを市民へ伝える。	未定
11	市との共催②	静岡市との共催講座。	静岡市の取り組みを市民へ伝える。	未定
12	わいわい祭り	アイセル21利用団体の活動発表会を行う。	施設で活動する生涯学習団体に日頃の学習成果の発表の場を提供するとともに地域住民との交流を図る。	2月
13	人形劇フェスティバル	静岡市内で活動するアマチュア人形劇団による人形劇の祭典。	人形劇団へ発表の場を作ると共に、子ども達に生の人形劇に触れる場を与え、地域文化の活性化を図る。	6月
14	ピョピョおはなしかご	手遊びやパネルシアター、手袋人形等を親子で楽しむ。	孤立しがちな乳幼児の親子にお話会を通して心広がる豊かな時間を提供する。	年間
15	アイセル歴史講座	静岡の歴史に焦点を当て、時代背景、風俗等の文化を学ぶ。	地元の歴史を学ぶ機会を提供し、郷土愛を育むとともに、生涯学習活動を自主的に企画運営できる団体を育成する。	年間
16	歴史講演会	アイセル歴史講座の公開講座を行う。	地元の歴史を学ぶ機会を提供し、郷土愛を育む。	1月
17	間伐材でものづくり	間伐材を使って木工作品を作り、自然環境について考える。	間伐材を使って木工作品を作ることで、物作りの楽しさを伝えと同時に環境保護の意識を育む。	8月
18	朗読体験講座	朗読を通して自身の表現方法を深く学ぶ。	朗読を通して自己表現することで、心身の活性化を図る。	秋
19	環境啓発講座	古本リサイクル市と環境に関する講演会及び展示会を実施する。	古本の交換を通して環境を守る4R運動について学び、環境問題の意識向上を図る。	11月
20	リコーダー講座	簡単な楽曲を練習し、成果を発表する。	皆で合奏する楽しさを体験するとともに、練習の成果を舞台上で発表する機会を提供する。	夏
21	歴史散歩①	アイセル21の周辺を散策し、その歴史と現在の姿を対比させる。	歴史と現在の姿を対比させることで、地域の姿をとらえる。	5月
22	歴史散歩②	歴史テーマに基づき名所旧跡を巡る。	地域の歴史・文化についての理解を深めるとともに、健康増進を図る。	10月
23	国際理解系料理講座	他国の料理や生活様式を学ぶ異文化理解講座。	静岡在住の外国人との交流を通して、異文化への理解を深めるとともに、日本文化の再認識を図る。	4月
24	パソコン講座	情報社会に対応したパソコン講座を実施する。	メディアリテラシー能力の向上を図る。	冬

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
25	環境講座	自然の産物を利用したものづくり講座を実施する。	自然素材を使用したものづくりを通して、環境保全に対する意識の向上を図る。	6月
26	自然科学講座	自然科学の不思議に触れる実験を行う。	科学実験を通して自然科学の不思議に触れ、子どもたちの興味関心を育む。	5月
27	婦人文学講座講演会	文学に関する講演会を実施する。	文学に親しんでもらう場を提供し、読書人口の増進を図るとともに、婦人文学講座の活動を地域へPRする機会とする。	秋
28	創ろう！キミだけのプラモ	半端部材を利用してオリジナルのプラモデルを作る。	設計図の無いところから自由に部材を組み合わせ作品を作り、想像力と創造力を養う。また、地場産業の紹介を行う。	5月
29	父子でものづくり	父親(男性保護者)と子どものものでものづくり講座を行う。	もの作りを通して、父と子の交流を図る。	冬
30	超初心者のための古文書入門	初心者向けの古文書入門講座。	古文書解読を通して地元の歴史に触れ、愛着を深めるとともに、文書に残る地域の貴重な歴史を後世に残す。	4月～5月
31	ストレッチヨガ講座	ヨガを体験する。	ヨガを通して、心身の健全な発達を促す。	2月
32	男性向け料理講座	料理経験の浅い男性を対象に簡単な調理実習を行う。	食のバランスに対する意識の向上と、余暇活動の充実を図る。	10月～11月
33	谷津山フィールドウォーク春・秋	谷津山の自然を体感するワークショップを行う。	地域への愛着と身近な環境に対する保護意識を育てる。また、自然体験を通し谷津山の魅力を市民に発信する。	4月、秋
34	マチナカで自然発見！探検隊	春を見つけるフィールドワーク。	地域の自然の魅力を後世に伝える一助とする。	2月
35	水墨画で絵手紙を描く	水墨画で絵手紙を描く。	協働運営講座として、サークルの活動発表・紹介の場を設けるとともに、生涯学習を行うきっかけを市民に提供する。	7月
36	裂き織り体験	裂き織りでコースターを作る。	古布の再利用を通して、リサイクル意識の向上を図る。	4月
37	親子のためのダンスWS	親子を対象としたダンスワークショップ。	親子で一緒に体を動かすことで、普段とは違うコミュニケーション力を養う。	冬
38	演劇WS	声を出したり体を動かし自己表現を楽しむ演劇ワークショップ。	演劇の魅力に触れる機会を提供し表現に携わることで心身の活性化を図る。	冬
39	日本のアニメ文化を語る	アニメにまつわる講演会を行う。	アニメ文化を学ぶことで、日本文化の再認識を図る。	9月
40	みつろう粘土講座	子どもを対象にみつろう粘土を使用し、おきものを作る。	安全な素材であるみつろう粘土を使用しモノを作ることで、子どもたちの創造性を育む。	8月
41	紙切り講座	紙切りを体験するワークショップ。	紙切りを実際に体験し、日本の伝統文化の魅力を再認識する。	冬

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
42	スローフードの世界	スローフードに関する話及び調理実習。	スローフードの調理実習を通して、地元 の伝統的な食文化を見直す。	5月
43	一閑張り	一閑張りのカゴを作る。	伝統工芸に触れ、日本文化の意識を高 める。	5月
44	顔型のパン作り	子どもを対象に、敬老の日に向けて顔型 のパンを作る。	料理意識の向上と、家族内の触れ合い の一助とする。	9月
45	お茶を食す	「飲む」以外のお茶の利用法を学ぶ。	お茶の様々な活用法を学ぶことで、静岡 の茶産業促進事業への関心を深め、茶 文化理解を図る。	1月
46	ルームランプ作り	日常に灯りを取り入れた生活を提案す る。	余暇活動の充実を図る。	秋
47	こども料理教室	子ども向けの調理実習。	食育の観点から環境に配慮した調理方 法を習得する。	夏
48	花と暮らす～ハンギングバスケット作り	花咲くしずおかアドバイザーによるハン ギングバスケット作りを行う。	静岡の特産である花きの再認識と緑あ ふれる環境づくりの一助とする。	7月～9月
49	夏野菜活用講座	野菜嫌いを克服するためのアイデアを 学ぶ。	野菜のアイデアレシピを学ぶことで、普 段の生活に役立てていただき、食生活 について見直す機会を提案する。	夏
50	びわの講座	静岡の特産品である枇杷を使ったパン 作り。	地元特産品を使用して調理実習を行うこ とで、地産地消の推進を図る。	6月
51	生涯学習センター内連携講座	生涯学習センターとの連携講座。	地域間交流を図る。	未定
52	財団内の連携講座① コミュニティダンスワークショップ	財団内連携講座。	財団の専門性を活かした事業を行い、 地域の文化振興の発展に寄与する。	夏
53	財団内の連携講座② 名手たちによるコンサート	財団内連携講座。	財団の専門性を活かした事業を行い、 地域の文化振興の発展に寄与する。	11月

(西部生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学西部学級	高齢者を対象とした長期聴講型講座。歴史、芸術など様々な分野を学ぶ。	高齢者の地域交流、積極的な社会参加の推進。	年間
2	楽しい！ボードゲーム入門	利用団体と協働企画運営するボードゲーム入門講座。	市民団体との協働企画運営。ボードゲームを通して地域交流を図る。	6月～7月
3	初めての蕎麦打ち体験	利用団体と協働企画運営する蕎麦打ち入門講座。	市民団体との協働企画運営。蕎麦打ち体験を通して、地域交流を図る。	4月
4	親子で楽しむクリスマス	利用団体と協働企画運営する親子あそび講座。	市民団体との協働企画運営。親子あそびを通して、保護者の情報交換、交流の場を提供。	12月
5	スクラップブック入門	利用団体と協働企画運営するスクラップブック入門講座。	市民団体との協働企画運営。スクラップブックを通して、地域交流を図る。	5月
6	アジアの屋台料理	東南アジア3カ国の紹介と代表的な料理とデザート作り。	食を通しての国際理解・異文化交流。	10月
7	初めてのヨガ体験	就労者層を対象にしたヨガ講座。	就労者層の利用促進、夜間を利用した心身リフレッシュの機会提供。	5月
8	女性のための護身カラテ	就労者層を対象にしたカラテ入門講座。	就労者層の利用促進、夜間を利用した心身リフレッシュの機会提供。	10月～11月
9	家庭教育講座	保護者を対象とした小学校入学準備講座。	子育てに関する情報の提供及び家庭教育に関する学習機会の提供。	2月～3月
10	西部歴史塾①	西部地域の名所巡り、歴史や文化を学ぶ西部歴史塾シリーズ。	郷土への理解を深め、地域の魅力を再発見する。	4月
11	西部歴史塾②	西部地域の名所巡り、歴史や文化を学ぶ西部歴史塾シリーズ。	郷土への理解を深め、地域の魅力を再発見する。	8月
12	西部歴史塾③	西部地域の名所巡り、歴史や文化を学ぶ西部歴史塾シリーズ。	郷土への理解を深め、地域の魅力を再発見する。	1月
13	西部歴史塾④	西部地域の名所巡り、歴史や文化を学ぶ西部歴史塾シリーズ。	郷土への理解を深め、地域の魅力を再発見する。	3月
14	職人もの①	伝統工芸である漆塗りを学び、漆塗り弁当箱を作る。	地域の人材活用及び地場産業、伝統工芸のPR。	11月～12月
15	職人もの②	木材を使ったものづくり講座。	地域の人材活用及び地場産業、伝統工芸のPR。	1月～2月
16	自由研究「安倍川花火大会」	安倍川花火大会の歴史や花火師の仕事について学ぶ。	地域行事の楽しみ方を紹介し、地域文化の振興を図る。	7月～8月
17	西部生涯学習センター利用団体連絡会	夏まつりをはじめAED研修など利用団体間の相互学習の企画運営及び調整のための連絡会。	利用団体間の相互交流及びセンター事務局との関係構築。	年間
18	西部生涯学習センター運営協議会	学校、利用団体、学識経験者等の幅広い分野の意見を施設運営に活かすための協議会。	利用しやすい施設運営及び地域・まちづくりに貢献する事業展開を図る。	5月、3月
19	静岡野菜でヘルシーランチ作り	静岡の野菜と魚を使ったヘルシー献立での調理実習。	中央卸売市場との協働企画運営。地元食材を使った料理で地産地消を推進。	12月
20	音楽会①(静商吹奏楽部)	静岡商業高等学校吹奏楽部と協働企画運営する地域音楽会。	高校との協働企画運営。音楽を通して学校と地域住民の交流を図る。	3月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
21	大学との協働事業	県立大学と協働企画運営する食育講座。	大学との協働企画運営。 食を通して児童の健全な育成を推進。	11月
22	県地震防災センター見学ツアー	静岡県地震防災センターを訪れ、地震防災対策について学ぶ。	予想される東海地震での被害を最小限に抑えるための防災対策意識の向上を図る。	7月
23	夏休み英語体験ALTとあそぼう	小学生対象の英語体験講座。ALTと一緒に歌やゲームを楽しむ。	英語を使った国際理解、異文化交流。	7月、8月
24	行政協働事業①	市の施策や制度、事業内容について学ぶ。	市政に関する学習機会の提供及び市政に対する理解・自治意識の向上を図る。	9月
25	行政協働事業②	市の施策や制度、事業内容について学ぶ。	市政に関する学習機会の提供及び市政に対する理解・自治意識の向上を図る。	2月
26	目指せ！せみのぬけがら博士	静岡科学館の専門性を活かした科学講座。	組織力を活かした学習環境の構築。	8月
27	静岡市美術館連携事業	静岡市美術館の専門性を活かした美術講座。	組織力を活かした学習環境の構築。	6月～7月
28	気軽に楽しむクラシック音楽	静岡音楽館の専門性を活かした音楽講座。	組織力を活かした学習環境の構築。	12月
29	西部ちびっこ探検隊	隣接する公園での自然遊びとセンター室内での親子遊び。	地域の子育て支援者の活用。	6月、7月
30	西部ちびっこ探検隊	隣接する公園での自然遊びとセンター室内での親子遊び。	地域の子育て支援者の活用。	10月、11月
31	古本リサイクル市	古本のリサイクル市。	循環型社会の形成を推進する団体の活用と支援。	9月
32	餅つきと餅花作り	餅つきや餅花作りで季節の伝統行事を楽しむ。	地域文化の継承活動を推進する人材の活用と支援。	1月
33	自然を楽しむ暮らし①	自然案内人(インタープリター)による季節の自然素材を利用したものづくり講座。	身近な自然資源の活用と環境保全の意識向上。	6月～8月
34	自然を楽しむ暮らし②	自然案内人(インタープリター)による季節の自然素材を利用したものづくり講座。	身近な自然資源の活用と環境保全の意識向上。	9月～11月
35	シニア演劇教室	シニア世代を対象とした演劇教室。表現や発声方法を学ぶ。	演劇による地域活性化とシニア世代の生きがい創出。	6月～8月
36	おはなし玉手箱	未就学児と保護者を対象にした手遊び、絵本の読み聞かせ講座。	地域の子育て支援者の活用及び気軽に参加できる親子の居場所づくり。	5月～3月
37	パソコンボランティア養成講座	パソコンサロンのための支援者養成講座。	パソコンサロン支援者の養成。	7月
38	西部パソコンサロンへようこそ	パソコン操作に関する質問や相談に応じるサロン形式の講座。	パソコンを使った相互学習により、地域交流・社会参加を推進。	5月～2月
39	西部夏まつり	芸能発表会、作品展示、体験教室など夏の恒例行事。	利用団体の成果発表の場、新規利用者獲得の場として生涯学習センター機能の発展を目指す。	8月
40	西部生涯学習センター展示・広報事業	地域内外にむけた当センターの施設案内、講座情報提供事業や展示ロビー活動。	当センターの施設PRと講座情報提供及び利用者の拡大を図る。	年間

## (南部生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	みのり大学南部学級	1年を通じて仲間づくりと様々な講座で知識を深める。	高齢者が知識を高め合いながら、教養を高め生きがいづくりを創造することを目的とする。	年間
2	みなみウーマンカレッジ	講義や物づくりを通して仲間づくりと交流を深める。	様々な講座を通して参加者の個性を引き出し魅力ある人材養成を目的とする。	7月～1月
3	南部生涯学習センター運営協議会	利用団体・地域住民・学識経験者より意見を伺い、施設運営、事業の参考とする。	意見を参考にし、長期的視点の施設運営や地域町づくりに貢献できる事業展開を図る。	6月、2月
4	なんぶフェスタ	南部生涯学習センターの利用団体と地域住民との交流を図る。	地域住民と利用者との交流を図り、生涯学習センター活動の相互理解を深める。	8月
5	生涯学習団体との協働企画運営公募事業	登録利用団体の活動を活性化のために協働事業の計画をたて次年度協働講座を行う。	登録利用団体(認定団体)の活動の充実と活性化を図る。	6月～8月
6	市共催講座	静岡市との共催講座。	静岡市の取り組みを市民へ伝える。	未定
7	市共催講座	静岡市との共催講座。	静岡市の取り組みを市民へ伝える。	未定
8	藍染講座	藍染体験と芹沢美術館見学。	地元の駿河藍染師より染色について学び、地場産業への理解を深める。	7月～8月
9	みなみコンサート	利用団体の音楽発表会。	利用団体に発表会の場を提供するとともに地域住民への交流を図る。	2月
10	季節のスケッチ	写生講座。	地域に残る自然、建物等をスケッチし地域の魅力を再認識する。	7月
11	親子でカメラマン	親子向けデジタルカメラ講座。	親子交流を図り、写真を撮る楽しさを体験する。	未定
12	するが女性の会共催講座	自分磨きをするために様々な講義を行う。	より魅力的な自分をめざし様々な分野を学習する。また仲間づくりを通して更なる向上を目指す。	9月～12月
13	囲碁講座	初心者向け囲碁講座。	囲碁を通して頭の運動を行うことで老化を遅らせるだけでなく、仲間づくりと交流を図る。	10月
14	旧マッケンジー邸ライブ春	旧マッケンジー邸で市民グループの音楽を楽しむ。	地域の文化財を活用し、その存在を市民へ周知する。	6月
15	旧マッケンジー邸ライブ秋	旧マッケンジー邸で市民グループの音楽を楽しむ。	地域の文化財を活用し、その存在を市民へ周知する。	10月
16	歴史講座	静岡の歴史について学ぶ。	静岡の歴史について学び、知識を高め学習意欲を推進させる。	秋
17	防災アクション	体験型防災講座。	東日本大震災をうけ防災とは何か考え、また、東海地震に備える。	9月
18	センターだより&展示事業	センターだよりの発行と館内展示事業。	当館をより利用してもらうためのセンターだよりの発行。展示事業を行うことで団体の紹介。	年間
19	陶芸入門講座	土をこね形をつくり、自分だけの器を作成する。	陶芸を通して生涯学習の場を提供する。	7月～8月
20	親子で手作りおやつ	手作りでおやつを作る。	手作りでおやつを作る楽しさと安全について学び、子ども同士、親同士の交流を図る。	冬

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
21	工作・物理入門講座	工作を通して簡単な物理学を学ぶ	簡単な物理学を学ぶことで、科学への魅力を再認識する。	8月
22	子ども球技	子どもの球技体験と親子交流講座。	未就学児の心身の発達と親子交流を図る。	2月
23	けん玉同好会	けん玉大会をし、けん玉体験と試合形式で大会を行う。	日本の伝統のおもちゃであるけん玉で遊び、日本のおもちゃの魅力を再認識する。	9月
24	シニア世代の料理講座	シニア世代が家庭でも作れる料理を学ぶ。	作ることの楽しさを学びながら同世代交流を図る。	6月
25	クリスマスアレンジメント	プリザーブドフラワーでクリスマスのアレンジメントを作る。	物を作る楽しさを学びながら、受講者の交流を図る。	12月
26	家庭菜園を自宅で	自宅で野菜を育てる、ペットボトルの利用で環境についても考える。	自宅で野菜を作る楽しさとペットボトルを使用し環境についても考える。	5月
27	読み聞かせと子どもの文学の世界	子どもの文学と読み聞かせについて学ぶ。	地域、学校での読み聞かせボランティアを育てる。	6月
28	パン講座	パンを捏ね、成形、焼きとパンを作る。	パンを手作りする楽しさを学びながら、食の安全について考える。	秋
29	絵手紙講座	初心者向け絵手紙講座。	季節にあったものを描き、身近な人へ手紙を送る楽しさを学び、人と人とのつながりを深める。	6月
30	ヨガで綺麗な姿勢づくり	ヨガ(KaQiRa)を学ぶ。	ヨガを通して、きれいな姿勢づくりと身体の中から美しくする。	秋
31	浮世絵と浮世絵の魅力とウォーキング(広重美術館連携)	広重美術館の浮世絵について講義を受けるとともに、興津駅から広重美術館まで東海道ウォーキングをし、美術館鑑賞をする。	東海道五十三次の浮世絵の魅力について学び、静岡の魅力を再認識する。	冬
32	夏休み木工講座	木工講座。	地元の間伐材を使用し、環境について考える。	8月
33	わくわく福祉	福祉講座。	福祉について学び、「福祉」とは何か考えることで、障害者への接し方を考える。	8月
34	将棋講座	初心者向け将棋講座。	将棋を通して頭の運動を行うことで老化を遅らせるだけでなく、仲間づくりと交流を図る。	9月
35	健康体操講座	高齢者向け体操講座。	高齢者が健康に長生きするために体操を学び交流を図る。	11月
36	パソコン体験講座	パソコンを使ってポストカードやうちわづくりをする。	パソコンを使用してポストカードやうちわを制作し体験することで、パソコンを使う楽しさを再認識する。	8月
37	七宝焼き	七宝焼き講座。	伝統工芸の面白さや奥深さを学び、日本の伝統品の魅力を再認識する。	9月
38	天文講座	秋の夜空を眺め、天文について学ぶ。	星座について深く学び、星の魅力を再認識する。	10月
39	社交ダンス入門講座	社交ダンス入門。	社交ダンスを通じて体の健康と人と人との交流を図る。	5月
40	食育講座	食の安全、安心について学ぶ。	地産地消をめざし、地元の野菜等を利用し、食の安全、安心について考える機会とする。	11月
41	文学講座	古典文学を親しむ。	静岡縁の古典文学について学び、静岡の魅力を再発見する。	秋

## (東部生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学東部学級	高齢者の生きがい創造、仲間づくりを目指し、幅広い分野について学ぶ。	高齢者が知識を高め合いながら、新たな仲間づくりや生きがい創造に努める。	年間
2	着付け体験教室	着物の成り立ち等を学び、実際に着付けを行う。	着物全般について学び、日本の伝統文化を見直す機会を提供する。	11月～12月
3	アロマで健康対策	体調に合ったアロマオイル作りや心身をほぐすマッサージを体験する。	アロマテラピーを日常生活に取り入れ、より充実した健康な生活を満喫する。	6月
4	ベビーマッサージ	母子対象のベビーマッサージ講座。情報交換やママ体操も行う。	出産後の子育てに関する相談や情報交換の場を提供する。	9月
5	パンづくり講座	パン作り体験。	パンを手作りする楽しさを学び、食の安全についても考える。	10月
6	はじめての健康マージャン	初心者を対象にしたマージャン入門講座。	健康マージャンを通じての仲間づくりを推進する。	11月
7	はじめてのストレッチヨガ	日頃の運動不足を解消し、生活習慣病を予防するためのヨガ入門講座。	市民の健康増進に寄与し、仲間づくりの場を提供する。	9月
8	和菓子づくり	地元和菓子店主から、和菓子作りを教わる。	和菓子づくりを教わり、その魅力を再認識する。	10月
9	和のちりめん細工～つるし雛～	ちりめんを使ってつるし雛を作る。	静岡県東部の伝統“つるし雛”の由来を学び、手芸の楽しさを知る。	1月
10	巴川のおさかな探検隊7月	水生生物に関する講義と巴川での採取・観察を行う。	巴川の自然観察をすることによって、環境保全に対する関心を高める。	7月
11	巴川のおさかな探検隊8月	水生生物に関する講義と巴川での採取・観察を行う。	巴川の自然観察をすることによって、環境保全に対する関心を高める。	8月
12	遊水地の昆虫と遊ぼう①	親子で麻機遊水地の昆虫や自然を採取・観察する。	身近な自然に触れることで、子どもの豊かな感受性を育てる。	7月
13	遊水地の昆虫と遊ぼう②	親子で麻機遊水地の昆虫や自然を採取・観察する。	身近な自然に触れることで、子どもの豊かな感受性を育てる。	8月
14	夏休み子ども市場見学①	親子で静岡市中央卸売市場を見学し、流通の仕組みについて学習する。	生鮮食料品類の流通について学ぶことで見聞を広める。	8月
15	夏休み子ども市場見学②	親子で静岡市中央卸売市場を見学し、流通の仕組みについて学習する。	生鮮食料品類の流通について学ぶことで見聞を広める。	8月
16	麻機遊水地の自然観察会①	麻機遊水地で自然観察を行う。	身近な自然に触れることで、子どもの豊かな感受性を育てる。	5月
17	麻機遊水地の自然観察会②	麻機遊水地で自然観察を行う。	身近な自然に触れることで、子どもの豊かな感受性を育てる。	10月
18	城北浄化センター見学①	城北浄化センターを施設見学する。	汚水が浄化される過程を知り、環境について考える機会を持つ。	6月
19	城北浄化センター見学②	城北浄化センターを施設見学する。	汚水が浄化される過程を知り、環境について考える機会を持つ。	10月
20	冬鳥観察会	麻機遊水地で冬に見られる野鳥の観察会を実施する。	東部地域にある麻機遊水地を活用し、野外に出て自然に親しむ機会を提供する。	11月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
21	東部歴史講座	静岡の歴史について学ぶ。	静岡の歴史について学び、知識を高め学習意欲を増進させる。	9月
22	地元の食材を使った料理	静岡の新鮮な野菜を使って、栄養バランスのとれたランチづくりを行う。	栄養バランスの取れた食事の大切さを学び、地産地消を考えるきっかけを提供する。	12月
23	運営協議会	運営委員から施設運営への意見・要望を伺う。	生涯学習活動及び施策の成熟に寄与する。	5月、3月
24	行政協働事業①	静岡市との共催講座。	静岡市の取り組みを市民へ伝える。	11月
25	行政協働事業②	静岡市との共催講座。	静岡市の取り組みを市民へ伝える。	2月
26	大学との協働講座	七夕の由来を学んだ後、地元大学生の指導のもと七夕飾りを作る。	日本の伝統的な四季の行事を知り、触れることで子どもたちの豊かな感受性を育てる。	7月
27	夏休み英語体験「ALTとあそぼう」	静岡市教育委員会より外国語指導助手(ALT)を講師に、英会話を楽しむ。	静岡市教育委員会との連携を強化しながら、子どもの国際理解、異文化への関心を育む。	8月
28	東南アジア料理講座	東南アジア3か国の代表的な料理とデザート作り。	東南アジアの料理作りを通じて、国際理解を深める。	1月
29	夏休み子ども料理教室	子ども向けの料理実習。	料理実習を通して物づくりの楽しさを学び、豊かな人間性を育む。	8月
30	パソコン講座	初心者を対象にしたパソコン講座。	パソコンの普及に追いつけず、不便を強いられている高齢者等をフォローする。	1月
31	1・2年生の子育て教室	小学1・2年生の保護者を対象に、学習・生活について考える。	小学1・2年生に有益な学習方法や生活習慣について学び、家庭での支援の方法を知る。	9月
32	3・4年生の子育て教室	小学3・4年生の保護者を対象に、学習・生活について考える。	小学3・4年生に有益な学習方法や生活習慣について学び、家庭での支援の方法を知る。	10月
33	思春期のココロ	スクールカウンセラーによる参加体験型の講義で家庭教育について学ぶ。	思春期を迎えた子どもの保護者特有の悩みを解決する糸口を提供する。	6月
34	ステンドグラス講座	ステンドグラスの作品を作る。	静岡市が推進する「ホビーのまち静岡」の実現に向けて、関連する事業を実施する。	2月
35	リニューアルオープン記念講座	東部生涯学習センターのリニューアルオープンを記念した講座。ミニコンサート、歴史講座等。	市民へ向けて、東部生涯学習センターのリニューアルオープンをアピールし利用促進を図る。	4/21(予定)
36	利用者団体連絡会	東部生涯学習センターを支える利用者団体との連絡会。まつり実施に向けた打ち合わせ等。	地域に根ざした生涯学習センターを目指し、利用者との意見交換の場を定期的に設ける。	年間
37	第32回東部夏まつり	演芸大会、演奏会、作品展示会、サークル1日体験、健康フェア等を実施する。	生涯学習活動をより地域に根付いたものとするため、地域住民との交流を図る。	7月
38	第31回ふれあい広場	演奏会、作品展示会、豆まき大会、消防フェア、保健福祉センターイベントを実施する。	生涯学習活動をより地域に根付いたものとするため、地域住民との交流を図る。	1月
39	子どもの救急講座	子どもの救急時における対処方法、医療機関の受診の目安などを学ぶ。	不急不要な救急医療の利用を減らし、子育てに関する疑問や不安を解消する。	12月
40	展示広報事業	主催事業のPRや利用団体等の成果発表の場の提供。	東部生涯学習センター全体の運営内容を市民一般に広報する。	年間

(長田生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学長田学級	高齢者を対象とした長期聴講型の総合教養講座。奉仕活動や社会見学を通じ交流を図る。	高齢者の生きがいの創造、異なる世代との交流、仲間づくりを目指す。	年間
2	静岡市との共催講座1	静岡市との共催講座。	静岡市が推進する市制課題について市民に身近なセンターから普及を図る。	年間
3	静岡市との共催講座2	静岡市との共催講座。	静岡市が推進する市制課題について市民に身近なセンターから普及を図る。	年間
4	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	日頃センターを拠点に活動中の団体へ協働で開催する講座の募集を行う。	市民の自発的な学習活動の支援を図る。	年間
5	展示・広報事業	活動成果発表の場を提供します。センターだよりを発行し長田エリア全世帯へ配布する。	センターの認知を高め、事業のPR及び理解を図り、利用者の拡大を図る。	年間
6	利用者団体連絡会幹事会	役員及び幹事をもって利団連を構成し、事業計画、予算決算及び役員を選出その他重要事項を審議し決定する。	利用団体間相互の連絡親睦を図り、センター運営に市民の声を反映させ、共催事業の計画と運営によりまちづくりを推進する。	年間
7	おさだ生涯学習センターまつり	バザー、こどもあそび広場、健康まつり、ミニSL乗車会など、利用者及び地域の住民とセンターが協働で開催するふれあいまつり。	人づくりと住みよい町づくり、自主的かつ主体的活動が出来る地域づくりを目標に、生涯学習センターの機能発展を目指す。	7月
8	長田生涯学習センター運営協議会	センター利用者、地元関係者、学識経験者等からなる協議会を設け、施設運営・事業について意見交換をおこなう。	市民の意見を広く徴し、生涯学習センター運営に反映させる。	6月、2月
9	利用者団体連絡会総会イベント	利用者団体連絡会幹事による決算報告と監査報告をおこなう。その後、イベントとして講演会や音楽会等を行う。	イベントを実施することで、利用団体だけでなく地域住民の方にセンターの認知を高め、利用するきっかけを作る。	3月
10	丸子川クリーン活動	町内会と連携し丸子川宇津ノ谷からべつたん橋までの土手約7kmの清掃と草刈りをおこないます。小雨決行、雨天中止。	環境美化と地域コミュニティの醸成をはかる。生涯学習センターと地域との連携・つながりを強化する。	11月
11	長田地域資源活用講座1	学習センター地元で採れる農産物等の収穫・農業体験等地域資源を活用した講座を行う。	地域の特産の紹介を通じ、地域の魅力の再発見につなげる。	年間
12	長田地域資源活用講座2	生涯学習センター地元の施設見学等、地域資源を活用した講座を行う。	地元の名物・名所・特色ある施設の見学・紹介を通じ、地域の魅力の再発見につなげる。	年間
13	財団文化施設との連携事業1	財団管理の文化施設との連携事業を行い、専門性を活かした事業を市民に提供する。	市民に身近な施設で、今後の芸術鑑賞において視点を多く持たせるための学習機会を提供する。	年間
14	財団文化施設との連携事業2	財団管理の文化施設との連携事業を行い、専門性を活かした事業を市民に提供する。	市民に身近な施設で、今後の芸術鑑賞において視点を多く持たせるための学習機会を提供する。	年間
15	文学講座	源氏物語等の日本古典文学を学ぶ。	日本古典文学を学ぶことで、美しい日本語に触れ当時の時代背景を読み取り、日本独自の文化の魅力を再発見する。	7月
16	親子で工場見学	小学生と保護者を対象に長田地域にある工場を見学する。	地元の産業、静岡の名産物・特産物について生産過程を知り、理解を深め、地域の魅力を再発見する。	8月
17	春のこどもあそび教室	2～3歳児とその保護者を対象に、親子参加型でリズム遊びやリミックの楽しさを学ぶ。	「あそび」を通じ集団生活の楽しさを知る機会とし、親子の触れ合いや子どもの社会性と協調性の芽生えを養う。	4月～7月
18	秋のこどもあそび教室	2～3歳児とその保護者を対象に、親子参加型でリズム遊びやリミックの楽しさを学ぶ。	「あそび」を通じ集団生活の楽しさを知る機会とし、親子の触れ合いや子どもの社会性と協調性の芽生えを養う。	9月～11月
19	冬のこどもあそび教室	2～3歳児とその保護者を対象に、親子参加型でリズム遊びやリミックの楽しさを学ぶ。	「あそび」を通じ集団生活の楽しさを知る機会とし、親子の触れ合いや子どもの社会性と協調性の芽生えを養う。	12月～3月
20	日本語教室「おさだ」	ボランティアサークル「にほんごおさだ」による日本語習得を必要とする在住外国人への日本語学習指導。生活・悩み相談。	日本語サポート・悩み相談を通じ相互理解を深め、より住みやすいまちづくりの一環として地域に根差した国際交流を図る。	年間

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
21	季節のアロマセラピー	アロマセラピー(芳香療法)を学び、季節の変わり目等を上手に乗り切る方法を習得する。	アロマセラピー(芳香療法)を用い市民の健康増進を促す。	5月
22	サークルとの共催事業	日頃センターを拠点に活動する団体と共同開催し講座を行う。	高齢化・人数の減少に悩む利用団体の活動を活性化し、会員の増加を期待し、生涯学習センターの利用率を高める。	未定
23	男性料理教室	料理初心者の男性を対象に、料理の基本を学ぶ。	自炊の美味しさ・大切さについて楽しく学習する機会を提供し、健康管理への意識を高め男性の家事参画を促す。	9月
24	親子料理教室	刃物や調理機器の使い方を学びながら、料理実習を行う。	自炊の美味しさ・大切さについて楽しく学習する機会を提供し、食の重要性と健康管理への意識を高めるきっかけづくりとする。	8月
25	長田の桃でフルーツタルトづくり	長田地区特産の桃を使い、フルーツタルトをつくる。	地元特産物の紹介を図り地産地消を推進する。人気の高い甘味づくりを通し、従来利用のなかった年代層の利用推進を図る。	6月
26	歴史ウォーキング	郷土歴史家の案内のもと、長田地区の歴史や史跡を歩いて訪ねる。	地域の魅力を再発見し、地域に対する理解をより一層深め、健康増進につなげる。	11月
27	長田音楽祭	長田生涯学習センター利用者団体連絡会に所属する音楽サークルの発表会。	音楽関係団体が日頃の成果を発表の場を設け、新たな会員を増やす機会とし、生涯学習センターの認知を高める。	2月
28	おさだ演奏会	演奏家による楽しいコンサートを行う。	気軽に音楽を楽しむ機会を提供し、センターの認知をはかり、これまで利用のなかった層へ利用のきっかけづくりとする。	10月
29	おさだファミリーあじさいコンサート	利用団体演奏による、子どもから大人まで気軽に参加し、楽しめる吹奏楽コンサートを実施する。	生涯学習センター利用団体に発表の場を提供し、子どもから大人まで楽しめるコンサートを通し地域の音楽振興の一助とする。	6月
30	おさだファミリークリスマスコンサート	利用団体演奏による、子どもから大人まで気軽に参加し、楽しめる吹奏楽コンサートを実施する。	生涯学習センター利用団体に発表の場を提供し、子どもから大人まで楽しめるコンサートを通し地域の音楽振興の一助とする。	12月
31	ものづくり講座1	静岡の伝統工芸等の技術を学びながら気軽に芸術や創作を体験する。	静岡の伝統工芸に親しみ、理解を深める。創作体験を通し、今後の芸術鑑賞において視点を多く持たせるための一助とする。	年間
32	ものづくり講座2	静岡の伝統工芸等の技術を学びながら気軽に芸術や創作を体験する。	静岡の伝統工芸に親しみ、理解を深める。創作体験を通し、今後の芸術鑑賞において視点を多く持たせるための一助とする。	年間
33	おさだ魅力発見散策ウォーキング	長田地区の歴史や史跡を歩いて訪ねる。	地域の魅力を再発見し、地域に対する理解をより一層深め、健康増進につなげる。	10月
34	はじめての方のパソコン講座	パソコンの初心者を対象にキーボード入力などパソコンの基礎を利用団体会員と講師から学ぶ。	市民ニーズの高いパソコン講座を実施することで、シニア層に向けて情報リテラシー能力向上を図り、地域住民の交流を深める。	11月～12月
35	和を楽しむ～季節の和菓子づくり	地元の菓子職人から和菓子作りを教わり、和菓子の魅力を学ぶ。	食文化への関心を深め、今後の生涯学習において視点を多く持たせるための一助とし、日本特有の文化の魅力を再発見する。	4月
36	おさだ地区文学・歴史探訪	十返舎一九や丸子宿等、長田地区に関連する歴史や史跡、文学について学ぶ。	地域の魅力を再発見し、センター地元への理解と愛着をより一層深める。長年センターで学習してきた研究会の人材活用。	5月～12月
37	夏休み理科自由研究7月	夏休みの自由研究に役立てる身近なものを使った理科実験教室。	児童の科学への関心を高める。地元在住元教師らの研究活動の推進と地元人材活用。	7月
38	夏休み理科自由研究8月	夏休みの自由研究に役立てる身近なものを使った理科実験教室。	児童の科学への関心を高める。地元在住元教師らの研究活動の推進と地元人材活用。	8月
39	こども実験教室	身近なものを使った理科実験教室。	児童の科学への関心を高める。地元在住元教師らの研究活動の推進と地元人材活用。	10月
40	財団文化施設との連携事業3	財団管理の文化施設との連携事業を行い、専門性を活かした事業を市民に提供する。	市民に身近な施設で、今後の芸術鑑賞において視点を多く持たせるための学習機会を提供する。	年間

## (北部生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学北部学級	高齢者を対象とした長期聴講型講義を実施し、歴史・芸術など様々な分野を学ぶ。	様々な分野の学習を通じて高齢者の生きがいを創造するとともに、社会参加及び仲間づくりの機会を提供する。	年間
2	ほくぶ文化祭・健康まつり	芸能祭、作品展示、地場産品紹介、健康相談などを実施する。	市民が学習成果を地域に還元する機会とし、地域の世代間交流を促進する。	7月
3	北部生涯学習センター運営協議会	年間事業、施設運営に関する協議を行う。	利用者や学校関係者等から意見を徴収し、より良い施設運営を目指す。	5月～3月
4	展示広報事業	生涯学習センター便りの作成と展示ロビーを成果発表の場として提供する。	市民が学習成果を還元する機会を提供する。また、広報活動を展開し、施設や講座の情報を地域に周知する。	年間
5	市共催講座	市の担当課と共催講座を実施する。	現代的課題に即した講義を開催し、静岡市の取り組みを市民に周知する。	未定
6	市共催講座	市の担当課と共催講座を実施する。	現代的課題に即した講義を開催し、静岡市の取り組みを市民に周知する。	未定
7	目指せ！セミのぬけがら博士	財団内の他施設と連携講座を実施する。	文化施設職員の協力による専門性の高い講義を実施し、地域の文化振興の一助とする。	7月～8月
8	20世紀美術の巨匠たち	財団内の他施設と連携講座を実施する。	文化施設職員の協力による専門性の高い講義を実施し、地域の文化振興の一助とする。	10月～12月
9	ベートーヴェンの音楽	財団内の他施設と連携事業を実施する。	文化施設職員の協力による専門性の高い講義を実施し、地域の文化振興の一助とする。	10月～12月
10	パソコン入門講座	シニアを対象としたエクセル、ワードの扱い方の講習を行う。	学習者の要望や現代的課題に配慮した分野の学習機会とし、情報活用能力の習得に寄与する。	未定
11	協働企画運営公募事業	次年度共催で実施する事業案を公募し、実施に向けた協議を行う。	生涯学習団体の活性化を図るとともに、指導的な役割を担える人材を育成する。	5月～3月
12	国際交流講座	地域で行われている国際交流活動を紹介する。	地域在住の外国人との交流を促進し、異文化交流、国際理解の一助とする。	9月～3月
13	夕暮れコンサート	親しみやすい楽曲を集めたコンサートを開催する。	地域の音楽文化振興の一端を担う。	6月
14	異文化体験・料理講座	外国人講師と交流し、異国の食文化やライフスタイルに触れる。	異文化交流、国際理解の場を提供する。	11月～12月
15	はじめてのノルディックウォーキング	地域の自然に触れながら、ノルディックウォーキングを体験する。	生活習慣病の予防と健康意識を高める機会とし、併せて地域の魅力を再発見する。	4月
16	ファミリーコンサート	親子で楽しめる楽曲を中心としたコンサートを開催する。	親子連れでも気軽に参加できるコンサートを開催し、地域の音楽文化振興の一端を担う。	3月
17	北部探訪「安倍鉄道の歴史」	北部地域の名所巡りや歴史、慣わし、伝説などを紹介する。	北部地域の豊かな自然や歴史、伝統文化を紹介し、郷土への理解を深める。	5月～6月
18	北部探訪「方言史」	北部地域の名所巡りや歴史、慣わし、伝説などを紹介する。	北部地域の豊かな自然や歴史、伝統文化を紹介し、郷土への理解を深める。	8月
19	北部探訪「賤機焼き」	北部地域の名所巡りや歴史、慣わし、伝説などを紹介する。	北部地域の豊かな自然や歴史、伝統文化を紹介し、郷土への理解を深める。	10月
20	北部探訪「井川の大名」	北部地域の名所巡りや歴史、慣わし、伝説などを紹介する。	北部地域の豊かな自然や歴史、伝統文化を紹介し、郷土への理解を深める。	12月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
21	北部探訪「地域の伝説」	北部地域の名所巡りや歴史、慣わし、伝説などを紹介する。	北部地域の豊かな自然や歴史、伝統文化を紹介し、郷土への理解を深める。	2月
22	地元食材を使った健康料理	地元食材を使った調理実習を実施する。	地域産の食材を取り上げ、地産池消への関心や郷土への理解を深める。	11月
23	地元食材を使ったお菓子作り	地元食材を使った調理実習を実施する。	地域産の食材を取り上げ、地産池消への関心や郷土への理解を深める。	5月
24	中山間地交流事業	中山間地の名所や歴史、慣わし、伝説などを紹介する。	北部地域の豊かな自然や歴史、伝統文化を次世代に伝承する機会とする。	10月
25	安倍わさびのお話と実演	地元で採れた食材を使った調理実習を行う。	地域産の食材を取り上げ、地産池消への関心や郷土への理解を深める。	9月
26	夏休み英語体験 ALTとあそぼう	ALT(外国語指導助手)と一緒に歌やゲームに親しむ。	地域社会と学校教育の関わりを深め、国際理解、異文化への関心を育む。	7月～8月
27	初めてのベビーマッサージ(春)	ベビーマッサージや母親向けの体操を紹介する。	子育て世代に交流の場を提供し、育児の不安や悩みを共有、解消するきっかけをつくる。	4月～7月
28	初めてのベビーマッサージ(秋)	ベビーマッサージや母親向けの体操を紹介する。	子育て世代に交流の場を提供し、育児の不安や悩みを共有、解消するきっかけをつくる。	9月～12月
29	親子で3B体操	親子で3B体操を体験する。	遊びや体操を通じて子どもの感受性を育み、子育て世代に交流の場を提供する。	1月～3月
30	家庭教育講座	子育てに関する講義を聞き、受講者者同士の情報交換の場を設ける。	子育てに関する様々な悩みを共有、解決する場を提供する。	10月
31	暮らしのエッセンス1	様々な角度からまちづくりを考える連続講座を実施する。	社会や地域との関わり方の多様性について考え、参加者相互の交流を通して自己実現や交友関係の構築を図る。	5月～8月
32	暮らしのエッセンス2	様々な角度からまちづくりを考える連続講座を実施する。	社会や地域との関わり方の多様性について考え、参加者相互の交流を通して自己実現や交友関係の構築を図る。	9月～12月
33	世界のあそび	世界のあそびを体験し、異文化に触れる。	異文化理解を深め、集団との関わりの中で仲間づくりの機会を提供する。	5月
34	北部わくわくクラブ	百人一首やふれあい囲碁を実施する。	週末の子どもの居場所づくり、仲間づくりの機会とし、子育て支援によるまちづくりを推進する人材の活用と育成を行う。	10月～12月
35	お正月百人一首かるた大会	小学生から高校生まで参加できるかるた大会を実施する。	日本の伝統文化を次世代に継承する場とし、地域の世代間交流を促進する。	1月
36	おはなしバスケット	小学生以下を対象に、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び等を行う。	週末の子どもの居場所づくり、仲間づくりの機会とし、子育て支援によるまちづくりを推進する人材を育成する。	年間
37	木版画講座	木版画で年賀状を作り、完成作品を展示する。	手作りの風合いの良さを見直すとともに、市民の文化意識向上の一助とする。	10月～11月
38	和布の小物づくり	古布を使って小物を制作する。	リサイクルへの関心を高めるとともに、生涯学習団体と共催することにより、指導的な役割を担える人材を育成する。	6月
39	和食の基本	だしのとり方等和食の基本を学び、調理実習を行う。	和食の良さを見直すことにより、日頃の食習慣や栄養バランス、健康への意識を高める。	9月～11月
40	藤編み体験	藤を使って小物を制作する。	ものづくりへの関心を高める契機とし、生涯学習団体と共催することにより、指導的な役割を担える人材を育成する。	1月～2月

## (藁科生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学藁科学級	高齢者を対象にした1年間の総合教養講座。	様々な分野の学習を通して高齢者の生きがい創造するとともに、社会参加および仲間づくりの機会を提供する。	年間
2	展示広報事業	施設の利用団体や市民による展示事業および館報やサークル紹介などの広報事業を行う。	施設の利用団体や市民を対象に日頃の活動成果を発表する場や情報を提供する。	年間
3	藁科生涯学習センター利用者団体連絡会	総会、役員会および施設の清掃活動を実施する。	利用する各団体の相互交流と、生涯学習センター事業への協力援助、意思提案を求める会として実施する。	年間
4	藁科生涯学習センター施設運営協議会	年2回の施設運営協議会を実施する。	施設利用者や学校関係者、地域づくりにかかわる市民などからの意見を施設運営に活かすための協議会を開催する。	年間
5	静岡市との共催講座①	市の行政機関を利用した日常生活に役立つ講座を実施する。	市民の日常生活に役立てるため、静岡市がおこなう行政サービスの取り組みを周知する。	年間
6	静岡市との共催講座②	市の行政機関を利用した日常生活に役立つ講座を実施する。	市民の日常生活に役立てるため、静岡市がおこなう行政サービスの取り組みを周知する。	年間
7	生活を豊かにする整理収納術	収納方法や整理整頓を改善し、生活をよりよくするためのノウハウを学ぶ講座を実施する。	暮らしやすい家づくりを提案し、日常生活における精神衛生の向上を図る。	11月～12月
8	四季の星座～春編～	藁科の環境を活かし、季節ごとの星座を学ぶ。	自然の移ろいを体感し、藁科地区の自然に親しむ機会を提供する。	4月
9	藁科歴史ぶらり散策	藁科地域の史跡を巡り、地元の歴史や伝承について学習する。	藁科地域について、郷土史を学びながら散策し、健康増進を図る。	5月～6月
10	無添加ソーセージをつくろう	本場のドイツソーセージの作り方を学ぶとともに、食品添加物や新鮮な食材の見分け方などを学ぶ。	異国の食文化を知るとともに、安心な食材の見分け方などを学ぶことで食生活を豊かにする。	11月～12月
11	生活とアロマセラピー	アロマセラピーの理論や活用法を学び、生活に役立てるものを作る。	アロマセラピーの理論や活用法を学び、ストレス解消法を提案する。	5月～6月
12	栽培から始める食材づくり	地元の休耕田を活用し、栽培から収穫、食品加工を一通り体験する。	農業体験を通して作物を育てることの楽しみや自然を相手にすることの大変さを知り、食育について考える機会を提供する。	6月～11月
13	映画講座	映画の歴史などを学ぶ。	映画を通じて自国や異国文化の理解を深め、精神的豊かさを見出す。	6月
14	おひるごはんをつくろう	家族で楽しめる栄養に偏りのないおひるごはんづくりを実習を通して学ぶ。	地域の食生活改善推進協議会と共催で家族交流や食育を目的とした料理実習を行う。	7月
15	チャレンジ！子ども太鼓教室	小学生に和太鼓に触れる機会を提供し、演奏会を実施する。	小学生に日本古来の楽器に親しむ機会を提供し、日本文化を見つめ直す。	7月～8月
16	わらしな美術創造室	地元で創作活動をしている芸術作家と、地域とコミュニケーションをテーマとした美術作品を制作する。	主に子どもを対象に美術を通して新たな創造力を引き出し、地域と文化芸術に親しむ機会を提供する。	8月
17	川の環境調査隊	地元の川に棲む水生生物の採取とパックテストを用いた水質調査を行う。	身近な川の河川環境調査をおこなうことで、自然に触れる機会を提供し、自然環境に配慮したまちづくりについて考える。	7月～8月
18	夏休み英語体験 ALTとあそぼう	小学生対象のALT講座を実施する。	小学校での外国語活動教育導入を受け、生涯学習センターとしての関わり方を探り、国際理解、異文化への関心を育む。	8月
19	苔玉づくり	苔玉づくりに挑戦する。	環境問題を考えるとともに、視覚的に夏を過ごしやすくするためのアイデアを提案する。	7月
20	清沢発！山里の味とくらし	清沢地区に伝わる昔ながらの料理と山里の暮らしを紹介する。	清沢で活動する団体とともに食材や山里の暮らしを紹介することで地域活性化を図る。	1月～2月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
21	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	生涯学習団体から次年度の協働企画講座を公募する。	生涯学習活動を支援するために、協働企画運営講座の実施を呼びかける。	7月～9月
22	四季の星座～夏編～	藁科の環境を活かし、季節ごとの星座を学ぶ。	自然の移ろいを体感し、藁科地区の自然に親しむ機会を提供する。	8月
23	健康づくり講座(エアロビクス)	家庭でも手軽にできるエクササイズを学ぶ。	利用団体と共催で健康や体力づくりの意識を高める。	4月～6月
24	健康講演会	服織地区社会福祉推進協議会と共催で、まちづくりと健康づくりに関する講演会を実施する。	服織地区社会福祉推進協議会と連携し、地域住民の健康づくりと福祉を推進します。	7月
25	パソコン講座	初心者を対象としたパソコン講座。	現代的課題に配慮した分野を取り上げるとともに情報活用能力の習得機会を提供します。	9月～10月
26	野菜料理づくり	野菜を使った料理講座。	食生活の改善を目指し、野菜を取り入れた調理方法を習得する。	9月～10月
27	四季の星座～秋編～	藁科の環境を活かし、季節ごとの星座を学ぶ。	自然の移ろいを体感し、藁科地区の自然に親しむ機会を提供する。	10月
28	奥わらしな野外体験	奥藁科の自然環境を活かし、散策や観察などの野外活動を行う。	奥藁科を知り、野外活動を体験することで、静岡の自然の良さを見直す。	9月～11月
29	藁科生涯学習センター文化祭	体験、ステージ、展示、ダンスなど、利用団体活動の成果を発表する。	利用団体活動の発表の場を提供するとともに、各団体の活性化を図る。	11月～12月
30	防犯フェア in わらしな	防犯の誓いの言葉、少年サポート講演、豆まき大会等を実施する。	まちづくり活動の一環として、服織学区青少年健全育成会と共催で防犯啓蒙事業を実施する。	1月
31	防犯特別講演会	多様な犯罪被害の防止対策の講演を行う。	まちづくり活動の一環として、藁科地域防犯協会と共催で、防犯対策の講演を行う。	2月
32	おさかな料理	身近な魚を使い、基本的な調理技術を学ぶ。	男女共同参画を推進するため、料理の基礎を学ぶ講座を実施する。	1月
33	尺八に挑戦	尺八を塩ビ管で製作し、尺八演奏の技術を学ぶとともに演奏体験を通して仲間づくりをする。	日本の伝統的な尺八を製作することで、邦楽の世界に触れる。	5月～6月
34	中勘助文学記念館事業	服織地区に縁のある作家・中勘助に関する講座を実施する。	中勘助文学の魅力語り継げる人材を育てるための文化事業を実施する。	2月～3月
35	絵手紙講座	利用団体と共催で絵手紙の作り方を学ぶ講座を実施する。	利用団体の活動を支援するとともに、絵手紙によるコミュニケーションづくりの機会を提供する。	10月
36	四季の星座～冬編～	藁科の環境を活かし、季節ごとの星座を学ぶ。	自然の移ろいを体感し、藁科地区の自然に親しむ機会を提供する。	2月
37	季節のお菓子づくり	育児のコツを学びながら、季節のお菓子作りを学ぶ。	季節のお菓子作りを通して、家族のふれあいを持つ機会を提供するとともに子どもの情操教育の一助する。	2月
38	ライフプランニング	遺書の書き方や地震保険の選び方など、現代的課題を取り上げた講座を実施する。	現代的課題を取り上げ、よりよい人生設計を考える機会を提供する。	3月
39	子ども遊びステーション	子ども遊びを学び、文化祭で実際に地域の子どもの達に遊びを教えよう。	昔の子どもの遊びや暮らしを知り、現代に生きる子ども達へ伝える。	9月～11月
40	財団施設連携講座 (静岡音楽館AOI:モーツァルトレクイエムについて)	財団が管理運営する施設と連携講座を実施する。	財団のもつ専門性を活かし、静岡市の文化振興を図る。	2月～3月

## (大里生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学大里学級	高齢者を対象とした長期聴講型講座。	仲間づくりや異なる世代との交流の輪を広げ、自らの生きがいを創造することを目的とする。	年間
2	女性学級大里女性学級	女性を対象とした長期総合講座。	自己発展を目指すとともに、学級生の仲間づくりや地域活動の推進を図る。	5月～3月
3	静岡の特産品講座	静岡のイイモノを紹介し、静岡の良さを再発見、再確認する。	静岡に縁ある団体の活動の場を提供すると共に、市民の静岡に対する意識を高める。	1月
4	運動をはじめてみよう	体操を行う利用団体と共催し健康づくりを行う。	軽運動を体験し心身ともに健康的な毎日を目指す。仲間づくりを行い活動を盛り上げる。	4月
5	思春期講座	大里複合施設3者で行う、思春期の心と体についての講演会。	大里複合施設3者で行うことで家庭教育環境向上に寄与する。	9月
6	しぞーかでん伝体操	しぞーかでん伝体操の意義を学び体験する。	軽運動を体験し心身ともに健康的な毎日を目指す。また、仲間づくりも行う。	1月
7	無添加ドイツソーセージを作ろう	食についての講義と調理実習。	料理を通じて、食の安全を学び食生活をかえりみると共に、交流を図る。	10月
8	現代的課題に取り組む料理講座	現代的課題に配慮し、市民のニーズの高い料理講座を行う。	調理実習を通じて、食について学び仲間づくりと交流を図る。	10月
9	型絵染講座	芹沢美術館と共催で行う染物講座。	人間国宝芹沢銈介と同じ染色技法を用いて型絵染めの製作をすることで、芹沢作品を理解し、親しむ。	5月
10	子育て教室 リトミックを体験	乳幼児親子を対象とした家庭教育講座。	乳幼児をもつ親のリフレッシュと仲間づくりの場を提供する。	9月～2月
11	介護講座	現状と今後の課題を学ぶ。	現代的課題に対して、意識を促すきっかけとする。	秋
12	書遊～好きな言葉や詩を書く～	書道を通じた交流と活動団体の支援。	書道を気軽に楽しむ方法の提案を行う。また受講生同士の交流を図る。	秋
13	戦争講座	太平洋戦争について学習し、平和の大切さを確認するための講座。	平和について語り合うことで、受講生同士の交流を図る。	夏
14	大里園芸講座 環境浄化植物を育てよう	身近な植物を育てながら学ぶ環境学習講座。	身近な事柄から環境を意識させ、日常に活かす。	5月
15	木のおもちゃをつくろう	静岡の木材を使って、おもちゃを作る。木から広がる世界を学ぶ。	静岡の木の良さを見直し、森や林について学ぶきっかけとする。	夏
16	広重共催企画	広重に学び、版画に挑戦する。	日本の伝統文化の価値を見直すと共に、仲間づくりを行う。	冬
17	伝統工芸工作講座(木目込み)	木目込み人形をつくり、仲間づくりを行う。	日本の伝統文化の価値を見直すと共に、仲間づくりを行う。	冬
18	教育相談事業	大里中学と共催で行う地域家庭教育講座。	地域の子ども達を地域で守り育てる。	年間
19	認知症ミニ講演会	大里保健センターと共に企画運営する、認知症についての講演会。	認知症について正しい知識を得ることで、誰もが生き生きと暮らせる地域づくりを推進する。	11月
20	健康医療講座	健康と医療について知識と理解を深める。	地域住民に正しい知識を得てもらい、安心して暮らせる地域づくりを目指す。	年間

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
21	大里中学校吹奏楽コンサート	大里中学校吹奏楽部によるコンサート。	複合する大里中学校の吹奏楽部生徒に活動発表の場を提供するとともに、気軽に音楽に触れる機会を市民に提供する。	4月～2月
22	親子であそぼう	乳幼児親子のリフレッシュを目的とした家庭教育講座。	親子のふれあいの幅を広げるとともに、活発な仲間づくりを支援する。	6月～7月
23	春の野草観察と押し花	安倍川河川敷の自然観察を通して環境学習を行う。	身近な植物の自然観察を通じて、仲間との交流を図り、発見の感動や喜びを共有する。	4月～6月
24	大里生涯学習センター運営協議会	施設利用者や学校関係者などと施設運営に生かすための協議会。	地域に関わる方々から意見をいただき、充実した生涯学習センターの運営に活かす。	7月～2月
25	財団連携講座	財団内で連携企画実施する市民向け講座。	財団の特徴を生かし、市民に広く知ってもらおうと共に、地域づくりを行う。	8月
26	こころの健康講座～統合失調症～	静岡市こころの健康センターとの共催講座。統合失調症についての講演会。	身近な病気であるが意外と知られていない統合失調症について理解を深める。	9月
27	夏休み企画 親子でバスはかせ	市の公共交通への取り組みなどを学習する。	バスを親子で身近に感じると共に、環境への配慮など社会的意義を学び、バス交通への理解を深める。	8月
28	はじめてのAOI 財団連携	音楽館と連携企画実施する音楽講座。	市民に身近な生涯学習センターが窓口となることで、音楽館に親しみを持たせる。	8月
29	蕎麦栽培から始める蕎麦打ち講座	利用団体との共催講座。蕎麦栽培からはじめ蕎麦打ち体験を行う。	作物を育てることの楽しみや自然を相手にすることの大切さを知るきっかけとし、地域の世代間交流の場とする。	9月～12月
30	夏休み企画 天気について学ぼう	気象予報士から実験をとおして天気について学ぶ。	近年の地球温暖化に伴う異常気象の原因について考え、環境問題を意識するきっかけとする。	7月
31	南アルプスパネル展	静岡市各課との共催講座。南アルプスのパネル展示。	南アルプスに関する知識を深め、自然や環境に対しての意識を高める。	10月
32	高校生と楽しむマンドリン	静岡東高校マンドリン部によるクリスマスコンサート。	高校生のボランティア意識を育てるとともに、市民が気軽に音楽を楽しめる機会とする。	冬
33	大里中学生によるパソコンカフェ	大里中学校と協働で行うパソコンを使った交流会。	中学生のボランティア意識を育てるとともに、幅広い年齢層の市民との活発な交流を図る。	8月
34	地域活性化事業	大里複合施設を中心としたまちづくり講座。幅広い分野の講演会や体験会。	大里複合施設を中心とした地域全体の活性化とまちづくりに寄与する。	年間
35	展示・広報事業	2、3階の展示スペースをセンターのPRや活動団体による発表の場とする。	センター利用者などの活動団体にむけて、発表の場を提供する。	年間
36	フィエスタ大里	大里複合施設のセンターまつり。	大里中学校と保健福祉センターと協力して行い、複合施設への関心を高める。	10月
37	むかし遊び	地域のお年寄りから昔の遊びを教わり一緒に遊ぶ。	小さな子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層のふれあいの場とする。	6月
38	人形劇あつぷつぶ公演	人形劇あつぷつぶによる人形劇の鑑賞。	人形劇鑑賞で親子のふれあいを促進するとともに、生涯学習センターへの親しみを深める。	5月～12月
39	文化・教養講座	現代的課題に配慮し、市民のニーズの高い教養講座を行う。	市民団体と協力して行う事で、大里生涯学習センターへの理解を深める。	冬
40	大里探検隊～ウォーキング～	大里地域を歩きながら解説を聞き地域を学ぶ。	地域の事柄をあらためて学び、良さを再確認してもらう。また、参加者同士の交流を深める。	12月
41	公募事業	生涯学習団体から広く企画を募り協働実施する。	活動団体と協働で行うことで、地域の活発な生涯学習活動を促進する。	年間

(西奈生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学西奈学級	高齢者を対象とし、芸術文化や生活文化などさまざまな分野の講演会等を実施する。	高齢者に対し、さまざまな分野における学習機会を提供することで、生きがいの創出及び社会参加を推進する。	年間
2	広報展示事業	施設広報誌の作成及び配布と、展示ロビーを利用者の成果発表の場として提供する。	施設の活動及び利用者の活動成果を発表する機会を設けることで、地域における生涯学習活動の促進を図る。	年間
3	西奈生涯学習センター運営協議会	利用者等により構成される施設運営委員会を設け、施設運営に関する協議を行う。	委員より施設運営に関する提案及び助言を受けることで、健全な施設運営を確保を目指す。	7月、3月
4	にしな文化祭	生涯学習団体による活動成果の発表会を実施する。	生涯学習団体の活動成果を発表する場とすることで、地域における生涯学習活動の促進及び団体と市民との交流を促進する。	11月
5	生涯学習団体との協働企画運営講座募集事業	生涯学習団体と協働企画運営する事業の案を募る。	生涯学習団体の活性化を図るとともに、指導者としての役割を担える人材を育成する。	6月～3月
6	生涯学習団体との協働企画運営講座①	生涯学習団体と協働企画運営する講座を実施する。	生涯学習団体の活動を周知させる場とすることで、地域における生涯学習活動の促進を図る。	5月
7	生涯学習団体との協働企画運営講座②	生涯学習団体と協働企画運営する講座を実施する。	生涯学習団体の活動を周知させる場とすることで、地域における生涯学習活動の促進を図る。	5月
8	静岡市との共催事業①	静岡市との共催事業を実施する。	静岡市の取り組みを市民に周知させることで、地域課題及び現代課題の解決を図る。	未定
9	静岡市との共催事業②	静岡市との共催事業を実施する。	静岡市の取り組みを市民に周知させることで、地域課題及び現代課題の解決を図る。	未定
10	東海道広重美術館との連携事業	東海道広重美術館と連携事業を実施する。	文化芸術の分野における専門性の高い知識を提供することで、地域における文化芸術の振興に寄与する。	未定
11	静岡市美術館との連携事業①	静岡市美術館と連携事業を実施する。	文化芸術の分野における専門性の高い知識を提供することで、地域における科学技術の振興に寄与する。	未定
12	静岡市美術館との連携事業②	静岡市美術館と連携事業を実施する。	文化芸術の分野における専門性の高い知識を提供することで、地域における芸術文化の振興に寄与する。	未定
13	パソコン講座	エクセルやワードなどのパソコンの操作方法について学ぶ講座を実施する。	情報社会において必要とされる技能を習得する場とすることで、市民の社会参加を推進する。	1月
14	西奈の歴史	地域に残された古文書等を調査・研究し、その成果を発表するとともに冊子にまとめる。	地域の歴史について調査及び発信することで、地域における歴史文化の振興に寄与する。	2月
15	防災に関する講演会	地域に合った防災対策を紹介する講演会を実施する。	地域において必要とされる防災知識を提供することで、地域住民の防災意識の向上を図る。	9月
16	講演会事業	教育及びスポーツ等に関する講演会を実施する。	教育及びスポーツ等の分野における知識を提供することで、地域住民の心身の健全な発達に寄与する。	6月
17	戦争のおはなし	戦争にまつわる朗読やコンサートを実施する。	戦争にまつわる資料を紹介することで、平和に対する理解を向上させ、地域社会の健全な発展に寄与する。	8月
18	ふれあいコンサート	近隣の高校の吹奏楽部によるクラシック音楽を中心とした楽曲の演奏会を実施する。	地域住民に気軽に音楽を鑑賞できる場を提供することで、地域における音楽文化の振興に寄与する。	12月
19	地域の中学生によるコンサート	近隣の中学校の吹奏楽部による演奏会を実施する。	地域住民に気軽に音楽を鑑賞できる場を提供することで、地域における音楽文化の振興に寄与する。	8月
20	ジャズ講座 春夏編	ジャズに関する知識の講演及び演奏を実施する。	地域住民にジャズについての知識を深める機会を提供することで、地域における音楽文化の振興に寄与する。	春、夏

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
21	ジャズ講座 秋冬編	ジャズに関する知識の講演及び演奏を実施する。	地域住民にジャズについての知識を深める機会を提供することで、地域における音楽文化の振興に寄与する。	秋、冬
22	外国語学習事業	児童が遊びや挨拶を通じて外国語を学ぶ講座を実施する。	児童に外国語に触れる機会を提供することで、異文化についての理解の向上を図る。	7月～12月
23	国際交流事業	海外の生活習慣や食文化、言語についての講義を実施する。	異文化に触れる機会を提供することで、国際理解の促進を図る。	秋
24	親子職場体験ツアー	さまざまな業種の職場を見学及び体験する講座を実施する。	さまざまな業種の職場を見学及び体験することで、子どもの社会性の向上や自立の促進を図る。	夏
25	自然科学事業	近隣の森林において、動植物の観察等を行う体験教室を実施する。	地域の自然環境に触れる機会を提供することで、地域の魅力を再発見させるとともに環境保護に対する意識の向上を図る。	夏
26	キッズラボ科学実験室	小学校の授業では扱わない本格的な実験機材を用いて科学実験講座を実施する。	子どもに本格的な科学実験の場を提供することで、科学技術の振興に寄与する。	7月～8月
27	子育て支援講座	保護者を対象に、手遊びや絵本の読み聞かせを実施する。	育児に関する悩みを共有する機会を提供することで、育児に関する課題の解決を図る。	2月
28	冷蔵庫でゴハン	冷蔵庫に残りがちな食材を使用しての料理実習を実施する。	家庭で実践できる調理方法を紹介することで、食生活を見直す機会を提供する。	5月
29	男性向け料理講座	男性を対象とした料理実習を実施する。	男性に料理をする機会を提供することで、男性の家事参加の促進を図る。	11月～2月
30	料理講座	料理実習を実施する。	家庭で実践できる調理方法を紹介することで、食生活を見直す機会を提供する。	6月
31	近隣大学との協働事業	大学生と協働企画運営する事業を実施する。	学生の事業企画を採用し実施することで、生涯学習指導者及び企画者の育成に寄与する。	12月
32	地域の自然体験事業	地域の自然資源を利用した講座を実施する。	地域の自然環境に触れる機会を提供することで、地域の魅力を再発見させるとともに環境保護に対する意識の向上を図る。	10月
33	絵手紙講座(団体育成事業)	絵手紙の作成方法を紹介する講座を実施する。	生涯学習団体の立ち上げとその育成を補助する場とすることで、地域における生涯学習活動の促進と人材の育成に寄与する。	10月～11月
34	ヨガ講座(団体育成事業)	ヨガの手法を紹介する講座を実施する。	生涯学習団体の立ち上げとその育成を補助する場とすることで、地域における生涯学習活動の促進と人材の育成に寄与する。	9月～11月
35	エコ講座	自然環境に配慮した生活雑貨を作成する講座を実施する。	自然環境に配慮した生活雑貨の作り方を提供することで、環境保護意識の向上を図る。	5月
36	若者向けダンス講座	若年層向けの音楽や動きを取り入れたダンスのワークショップを実施する。	集団で身体を動かす機会を提供することで、健康促進とともに受講者同士のコミュニティの創出を図る。	9月～11月
37	木版画講座	木版画の制作方法を紹介する。	芸術作品を制作する機会を提供することで、地域の芸術文化の振興に寄与する。	10月～11月
38	アロマで花粉症対策	アロマセラピーの効果及び活用方法の知識を習得する講座を実施する。	アロマセラピーの知識を提供することで、心身の健全な発達に寄与する。	1月
39	珈琲でおもてなし	コーヒーの入れ方や、そのマナー等について学ぶ。	コーヒーの入れ方についての知識を提供することで、接遇やマナーについての知識の向上を図る。	4月～5月
40	冬のおたのしみ会	児童向けに本の紹介や朗読を実施する。	児童に本に親しむ機会を提供することで、児童の健全な育成に寄与する。	12月

## (駿河生涯学習センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学小鹿学級	高齢者を対象とした総合教養講座。	講座を通じての人材発掘と高齢者の福祉の増進。	5月～3月
2	駿河生涯学習センター運営協議会	第三者委員に館の運営についての意見を求める。	地域に根差した館の健全な運営の確保。	春、冬
3	ホテル博士になろう	ホテルの飼育や水見色での観察会、生態系の講義などを実施する。	地域環境保全意識の向上。	6月～9月
4	はじめてのキッズダンス	地域団体と協働で児童対象のダンス講座を開催する。	地域団体との連携を強化する。児童の健全な育成、異年齢の児童交流を深める。	7月～9月
5	はじめてのキッズバレエ	地域団体と協働で児童対象のバレエ講座を開催する。	地域団体との連携を強化する。児童の健全な育成、異年齢の児童交流を深める。	4月～6月
6	パソコンでデジカメ活用	デジタルカメラで撮影した写真をパソコンで保存・加工・編集する方法についてを学ぶ。	市民のパソコン技術の向上を図る。	冬
7	プランターで楽しむガーデニング	花の育て方の基礎や楽しみを寄せ植えを通して学ぶ。	想像力、情緒豊かな人間性を育む。	夏
8	財団連携事業	財団内の連携事業。	財団内の連携を強化し、文化、芸術振興の推進を図る。	秋
9	救急救命講座	応急手当、心肺蘇生法、AEDの取り扱いを学ぶ。	救急救命の知識を深め、災害、事故などに対応できる地域リーダーの育成。	夏
10	来・て・こ祭	全施設を市民に公開。地域団体との協働事業を開催する。	地域団体との連携強化、利用団体の学習成果発表の場の提供と利用者間交流、及びセンター広報。	12月
11	広報誌発行	駿河生涯学習センター利用団体紹介、施設案内広報紙を作成、配布する。	情報提供、及び広報。	春
12	静岡大学アウトリーチ研究会コンサート	静岡大学の学生と協働企画運営し、コンサートを開催する。	地域教育機関との連携による青少年の文化活動の推進。	11月
13	来・て・こ 絵本の部屋	未就学児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせや手遊びを行う。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、子どもの健全な育成を図る。	4月～2月
14	地震から子どもを守る防災講座	乳幼児の保護者を対象に地震災害発生時の避難方法や日常防災について学ぶ。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、防災意識の向上と知識の習得を図る。	8月
15	自然災害と損害保険	自然災害による経済的な損失に備えるための保険の種類や補償内容を学ぶ。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、一般消費者の利益の擁護を図る。	9月
16	市との共催事業	静岡市との共催講座。	静岡市と協働で行政課題の解決を図る。	6月
17	こどもセミ調査隊	静岡科学館との連携で開催。セミの抜け殻を拾い集め、その種類の判別方法を学習する。	地域の自然環境に関心を深め、生物多様性を理解するきっかけを作る。	8月
18	マネープランと資産運用	暮らしを振り返り、将来へ向けて計画的な資産運用を行うための基礎知識を習得する。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、一般消費者の利益の擁護を図る。	11月
19	心のケア講演会	利用団体と共催で心の問題をテーマとした講演会を行う。	市民団体との連携を強化し、心豊かに暮らせるまちづくりの推進を図る。	2月
20	駿河歴史塾	地域の歴史を学ぶ。	地域の伝統文化を再評価し、文化財保護意識の喚起と未来への継承を図る。	5月
21	こども将棋教室	小学生以下の子どもを対象に将棋を学び、最終回は日本将棋連盟主催のこども大会に出場する。	市民団体との連携を強化し、子どもの居場所づくりと仲間づくりの推進を図る。	5月～7月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
22	料理講座	料理講座。	新規料理サークルの立ち上げと学習支援。	8月～10月
23	収納整理講座	整理収納を実践的に学ぶ。	市民生活の見直しと改善を図る。	11月
24	正月門松作り	正月に向けて門松を製作する。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、伝統行事の見直しと継承を図る。	12月
25	家事家計講習会	家計簿のつけ方を通して、家事家計を学習する。	市民団体との連携を強化し、市民生活の見直しと改善を図る。	2月
26	司法講演会	司法書士による相続遺言に関する講演会。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、日常生活における課題解決を図る。	5月
27	地域団体によるコンサート	地域で活動する演奏団体によるコンサート。	地域で活躍する人材育成を育成し、文化及び芸術の振興を図る。	10月
28	ひよこママのサブリ講座	初産の母親を対象とした仲間づくり、心身リラックス講座。	講座を通じて子育て支援を推進する人材を発掘し、育成する。	6月～7月
29	地元野菜で男クッキング	成人男性を対象とした地産地消料理講座。	地産食材を用いることにより地域の魅力を喚起すると共に、男女共同参画の推進を図る。	秋
30	ちっちゃな働きマン	子どもたちが駿河区の伝統工芸品作りなどの地域の職業を体験する。	地域の魅力を喚起し、地域社会の健全な発展を目的とする。	9月～10月
31	骨盤矯正バランス体操講座	歩き方や正しい姿勢を学び、健康増進を図る。	心身の健全な発達に寄与する。	5月～7月
32	来・て・こ ちびっこダンサー	ダンスを通して仲間づくりや健全な心身の育成を促す。	子どもの健全な育成を目的とする。	4月～6月
33	エコ講座	地球温暖化対策講座。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、自然環境の保護や整備の推進を図る。	5月
34	市との共催事業	静岡市との共催講座。	静岡市と協働で行政課題の解決を図る。	冬
35	美術館巡り	静岡市の美術館を巡り、鑑賞する。	財団内の連携を強化し、文化、芸術振興の推進を図る。	秋
36	子どもの救急講座	子どものケガの応急処置や救急法について学ぶ。	子育て支援。	9月
37	こども造形教室	絵画や工作を体験する。	ものづくりを通し、子どもの健全な育成を促す。	秋
38	子育て市民団体との共催講座	地域で活躍する子育て団体による、子育て支援講座。	市民団体の人材を育成し、男女共同参画社会の形成を推進する。	10月
39	男性料理講座	男性を対象とした料理体験講座。	地産食材を用いることにより地域の魅力を喚起すると共に、男女共同参画の推進を図る。	冬
40	夏休み親子工場見学ツアー	親子で地域の工場見学を行う。	地域の魅力を喚起すると共に子どもの豊かな人間性を涵養することを目的とする。	8月
41	人形劇公演	地域で活躍する団体による人形劇公演。	市民団体の人材を育成すると共に、子どもの健全な育成を目的とする。	冬
42	初心者のためのフラダンス	フラダンスを通して、心身の健康増進を図る。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、市民の心身の健全な発達に寄与する。	6月～8月
43	ダンス講座	ダンスを通して、心身の健康増進を図る。	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、心身の健全な発達に寄与する。	9月～11月

## (南部勤労者福祉サービスセンター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	勤労者のためのパソコン講座①ワード入門②エクセル入門③エクセル中級④アクセス入門⑤パワーポイント入門⑥パワーポイントビジネス活用⑦パソコン初心者教室	パソコンの基礎から、オフィスソフトの使用法、活用法について学ぶ。初級者、中級者を対象としたパソコン講座。	勤労者のパソコン技術の向上を図る。	年間
2	フィットネススクール①エアロビ初級月曜コース②エアロビ初級木曜コース③エアロビ初級土曜コース④エアロビ中級水曜コース⑤ヨガ火曜コース⑥ヨガ水曜コース⑦ヨガ金曜コース	初級者、中級者を対象としたエアロビクス、ヨガ講座。	勤労者の健康増進、体力向上、心身の安定を図る。	年間
3	トレーニングインストラクター指導業務	トレーニングインストラクターが、器具の使用法、トレーニングの指導・相談にあたる。	勤労者の効果的な健康づくりを推進する。	年間
4	スローストレッチ	体の内側の筋肉を鍛えるストレッチを体験する。	勤労者の健康増進、心身の安定を図る。	5月～7月
5	ダンスエクササイズ	ダンスを取り入れたエクササイズで有酸素運動を体験する。	勤労者の健康増進、体力向上を図る。	9月～11月
6	ノルディックウォーキング	地域の自然に触れながら、ノルディックウォーキングを体験する。	生活習慣病の予防、地域の魅力を再発見する。	秋
7	財団連携事業	財団内の連携事業。	財団内の連携を強化する。 勤労者の文化、芸術の振興の推進を図る。	冬
8	健康スポーツ体験祭り	施設を市民に公開し、施設の利用体験、地域団体との協力による健康まつり。	勤労者の健康意識の向上及び、センター広報。	12月
9	電子確定申告e-TAX講座	国税電子申告・納税システムの操作方法を学ぶ。	勤労者の税知識の普及、納税意識を高める。	秋

## (小鹿老人福祉センター)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	ビーズアクセサリー教室	アクリルビーズを使ったアクセサリーの作成。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	4月～9月
2	韓国語教室	高齢者を対象とした易しい韓国語を学習する。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	4月～9月
3	健康体操教室	音楽のリズムに合わせて体を動かす。マットやボールを使ったエクササイズを行う。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	4月～9月
4	将棋教室	将棋のルールや歴史の講義と、実戦形式の対局を行う。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	4月～9月
5	折り紙教室	初級から中級レベルの折り紙作品を制作する。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	4月～9月
6	はじめてのパソコン(XP)	windows XPを使い、簡単な文字入力からインターネットの閲覧、メールの作成等を行う。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	4月～9月
7	はじめてのパソコン(VISTA)	windows VISTAを使い、簡単な文字入力からインターネットの閲覧、メールの作成等を行う。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	4月～9月
8	墨絵教室	筆づくり、墨の濃淡の基本を学び墨絵作品を制作する。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	10月～3月
9	実用書道教室	日常生活のさまざまな場面で役立つ実用的な書き方を学ぶ。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	10月～3月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
10	囲碁教室	囲碁のルールの講義と、実戦形式の対局を行う。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	10月～3月
11	ちぎり絵教室	12回の講座で9作のちぎり絵を制作する。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	10月～3月
12	編物教室	小物からマフラー等まで、受講者のペースに合わせて編物作品を制作する。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	10月～3月
13	はじめてのパソコン(XP)	windows XPを使い、簡単な文字入力からインターネットの閲覧、メールの作成等を行う。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	10月～3月
14	はじめてのパソコン(VISTA)	windows VISTAを使い、簡単な文字入力からインターネットの閲覧、メールの作成等を行う。	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	10月～3月
15	介護保険について学ぶ	介護保険制度について高齢者を対象にわかり易く解説及び相談を行う。	介護保険についての知識を深め、高齢者福祉の向上に寄与する。	8月
16	同好会活動発表会	小鹿老人福祉センターを一般に開放し、参加利用団体が大広間等で日頃の活動成果を発表する。	利用団体の日頃の活動成果の発表の場を設けるとともに、高齢者の生きがいをづくりの促進とセンターの活性化を図る。	12月
17	高齢者のための吹奏楽コンサート	地域の学校の吹奏楽部によるブラスバンド演奏。	音楽を通じた高齢者と学生の世代間交流。	12月
18	高齢者のための郷土史講座	静岡市内の史話や伝説についてわかり易く解説する。	郷土へのより深い愛着と地域の魅力の再発見を促す。	1月
19	同好会作品展	作品展希望団体を募り、月毎に館内展示を行う。	高齢者の生涯学習支援、生きがいをづくり。	年間
20	小鹿だより	広報紙「小鹿だより」を毎月1800部発行、及びホームページへの掲載。	情報提供及び広報。	年間

(北部生涯学習センター美和分館)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	高齢者学級みのり大学美和学級	高齢者を対象とした長期型の総合学習。	各種分野の学習を通じて自らの生きがいを創造し、また、仲間づくりや社会参加の機会を提供する。	年間
2	わくわく劇場～ようこそ・アカデ美和	幅広い世代に親しまれる演目(劇、紙芝居、影絵など)を行う。	施設のPRと地域づくりの一環とする。	秋
3	本山茶手もみ体験ツアー	本山茶の手もみ体験、試飲、製茶工場の見学を行う。	手もみなどの体験を通して、茶産業の振興と地元茶の活性化とPRを図り、茶文化の啓発に努める。	5月
4	連携事業(科学館)	せみのぬけがら調べを行う。	財団内の連携を図ると共に、より専門性に富んだ事業とし、財団のPRを行う。	7月
5	駿河歴史塾(駿河)	静岡の郷土史を学ぶ。	静岡の歴史を学ぶことで、地域の伝統・文化を再発見し、文化財保護意識の喚起と継承を図る。	秋
6	エコで快適生活術	健康的で快適な生活を送るための知恵をさまざまな観点から学ぶ。	身近な生活にかかわる知識や知恵を学ぶことで、環境保護への啓発を促す。	6月
7	昔懐かしのおもちゃで遊ぼう	昔の伝統を伝え、遊ぶ。簡単なおもちゃづくりを行う。	不要品等の活用により、環境への配慮を促し、また、その関心を高めることで、環境問題の啓発に繋げる。	7月～8月
8	おいしさ発見!美和の食卓	地元で採れた新鮮な食材を使って、料理実習を行う。	地産地消の理念を学び、食生活を見直す機会を提供する。	4月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
9	男のクッキング	男性を対象に、特定のテーマにしぼって行う料理講座(初心者向け)。	初心者を対象とし、料理の基礎を学び関心を高める。	1月～2月
10	市との共催事業 I	市民のニーズを反映した講義・講座内容を行う。	市と共催で行うことで、市民への広い周知・理解を図る。	未定
11	レディ・レッスン	成人女性を対象に、さまざまな観点から学ぶ。	様々なジャンルの関心を高め、女性が生き活きと活動できるきっかけをつくる。	10月～11月
12	異文化交流	初心者向けの簡単な外国語のあいさつ等を学ぶ。	異文化を学ぶことで、多文化共生への関心・理解を深める。	11月
13	こどもフラワーアレンジメント	母の日の贈り物として生花でフラワーアレンジメントの作品を作る。小学生対象。	ものづくりを通して子どもの豊かな感受性・創造性を育む。また、家族のコミュニケーションの機会を提供する。	5月
14	社交ダンスを楽しむ	社交ダンスの基礎を学ぶ。	心身の活性化・健康増進を図ると共に、受講生間での交流を通して仲間づくりの機会を提供する。	4月～5月
15	春の星座	星やギリシャ神話の話と屋外での天体観測を行う。	天体観測を通じて自然の雄大さを体感すると共に、惑星などの話を通して学習意欲と環境意識の向上を図る。	5月
16	お茶の歴史・闘茶	闘茶体験とおいしいお茶の淹れ方を学ぶ。	市との共催による、静岡特産の茶の魅力を再認識する機会の提供と、茶産業の振興を図る。	8月
17	こどもダンス入門	ダンスの基礎を学ぶ。小学生対象。	自己表現することの楽しさを知ると共に、コミュニケーション能力の向上を図り、社会への適応力を身につける。	夏
18	朝のおめざめヨガ	ヨガによる呼吸法とエクササイズを行う。	ゆったりとした動きを通して心身の健康増進を図ると共に、運動することの大切さを知る機会を提供する。	秋
19	東南アジアグルメ紀行(西部)	東南アジアの代表的な料理やデザートを作る。	料理実習を通して、異文化交流を図る。	11月
20	はじめてのノルディックウォーキング(北部)	地域の自然に触れながら、ノルディックウォーキングを体験する。	生活習慣病の予防と健康意識を高める機会を提供すると共に、地域の魅力を再発見する。	秋
21	クリスマス料理講座	美和地域の食材を使ったクリスマスにちなんだ料理を作る。	料理実習を通して季節の行事を楽しむ機会を提供する。	12月
22	地域連携事業 I (発表会)	美和地区老人会や自治会、施設利用団体の舞踊や歌唱などの成果発表会を行う。	地域の団体との協働事業を通じて、地域との親睦を図る。	2月
23	パソコン講座 I	文字入力、印刷などパソコンの基礎知識を学ぶ。	学生ボランティアなどのサポートによるパソコン講座を通じて、異世代間の交流を図ることで、総合理解を得る。	夏
24	紙粘土で動物を作る	5歳以上の親子で紙粘土の置物を作る。	ものづくりの楽しさを知る機会を提供すると共に、家族間でのコミュニケーションの場とする。	4月
25	染め物体験講座	型絵染の染め物を体験する。	ものづくりの楽しさを知ることと共に、伝統文化について考える機会を提供する。	冬
26	財団連携事業 (美術館)	連携講座を実施する。	施設のPRと財団内施設との連携強化を図る。	夏
27	地域連携事業 II (ふれあい交流会)	高齢者と子どもと交流を図るためのレクリエーションや発表会などを実施する。	高齢者と子どもの交流会を行うことで、異世代間のコミュニケーションを図り、地域の活性化を図る。	8月

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
28	財団連携事業 (AOI)	連携講座を実施する。	施設のPRと財団内施設との連携強化を図る。	11月
29	子ども料理	子どもでも簡単に挑戦できる料理を行う。	子どもの料理の意識向上を図り、また、実習による協調性を養う。	8月
30	親子講座	親子でふれあう遊びなどを行う。	子どもと保護者のコミュニケーションを図る。	4月
31	大人の健康体操	身体に負担をかけない健康体操を行う。	講座を通して、健康増進を図り、また、サークル立ち上げの一環とする。	10月
32	高齢者パソコン講座～初心者編	PCの基本操作を学ぶ。	情報リテラシー能力を習得することで、高齢者の社会参加への一助とする。	6月
33	物づくり	作品づくりを行い、作品展を実施する。	作品作りを通して、物づくりの楽しさを学び、学習成果の発表の場とする。	12月
34	写真講座～デジタルカメラ編	地域の自然などを題材にデジタルカメラでの撮影方法やポイントなどを学ぶ。	写真撮影を通して、地域の自然などを見直すきっかけとする。	10月～11月
35	市との共催事業Ⅱ	市民のニーズを反映した講義・講座内容を行う。	市と共催で行うことで、市民への広い周知・理解を図る。	未定
36	季節のアロマセラピー (東部)	アロマセラピーを学び、季節の変わり目等を上手に乗り切る方法を習得する。	アロマセラピーを用いて、健康増進を図る。	2月
37	展示・広報事業	施設の案内や作品展などによる情報提供を行う。	施設利用者をはじめ町内会などへ情報発信の拠点とすることで施設の利用拡充を図る。	年間
38	北部生涯学習センター美和分館運営協議会	事業計画や報告を行い、施設の運営についての意見を伺います。	地域に密着した運営を図るための情報交換を図る。	6月、2月
39	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	25年度事業を対象に施設利用団体へ協働企画運営講座の公募を行う。	団体へ協働事業の理解を得る。	4月～3月
40	アカデ美和まつり	もちつき大会やお茶席、模擬店、体験コーナーなどを実施する。	地域と連携した事業を推進することで、地域のまちづくり事業の一助とする。また、施設PRも兼ね利用促進を図る。	12月

(東海道広重美術館)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	館蔵品展「変わり種東海道Ⅳ 狂歌入東海道」	変わり種東海道シリーズ第4弾として、江戸時代に流行した狂歌を入れた東海道シリーズを紹介。	毎月展示替えを行い、年間を通して様々な浮世絵を紹介し、鑑賞者に浮世絵芸術の素晴らしさを満喫して頂くことを目的とする。	4/3～5/6
2	企画展「北斎と広重が描いた東海道」	浮世絵において二大風景画絵師として知られる広重と北斎。両者の描く東海道や名所を紹介し、双方の魅力に迫る。	毎月展示替えを行い、年間を通して様々な浮世絵を紹介し、鑑賞者に浮世絵芸術の素晴らしさを満喫して頂くことを目的とする。	前期:5/8～6/10 後期:6/12～7/16
3	館蔵品展「浮世絵諸国めぐりー東海道と中山道を中心にー」	江戸時代、旅の主要な街道であった東海道と中山道を描いた2つの街道絵、葛吉版東海道、木曾海道六拾九次之内を紹介。	毎月展示替えを行い、年間を通して様々な浮世絵を紹介し、鑑賞者に浮世絵芸術の素晴らしさを満喫して頂くことを目的とする。	前期:7/18～8/19 後期:8/21～9/23
4	館蔵品展「広重の出世作！保永堂版東海道」	街道祭りの時期に合わせ、風景画絵師として大成するきっかけともなった広重の代表作、保永堂版東海道を紹介。	毎月展示替えを行い、年間を通して様々な浮世絵を紹介し、鑑賞者に浮世絵芸術の素晴らしさを満喫して頂くことを目的とする。	9/25～10/28

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
5	館蔵品展「名所江戸百景の秋と冬」	H23年度に続き、広重の風景画の集大成ともいえる最晩年の作品・名所江戸百景のうち、秋・冬の部を展示。	毎月展示替えを行い、年間を通して様々な浮世絵を紹介し、鑑賞者に浮世絵芸術の素晴らしさを満喫して頂くことを目的とする。	前期:10/30～11/25 後期:11/27～12/26
6	館蔵品展「御上洛東海道ー将軍の旅した東海道ー」	三代豊国を始めとする幕末の歌川派により描かれた江戸幕府第十四代将軍・徳川家茂の御上洛を描いた浮世絵、御上洛東海道を紹介。	毎月展示替えを行い、年間を通して様々な浮世絵を紹介し、鑑賞者に浮世絵芸術の素晴らしさを満喫して頂くことを目的とする。	前期:1/4～2/3 中期:2/5～3/3 後期:3/5～3/31
7	第7回 ゆい年賀状版画コンクール	年賀状をテーマに、ハガキサイズの版画作品を全国から公募し、応募作品の展示及び、専門家による作品審査を実施。	版画・浮世絵への関心を高めること、及び、美術館を中心とした町づくり推進を目的とする。	公募期間:夏頃～1月 展示期間:1月～2月
8	ギャラリートーク	静岡市東海道広重美術館スタッフによる展示解説。	解説を通して、展示内容に対する鑑賞者の理解を深めることを目的とする。	展覧会毎(月1～2回程度)
9	講演会	専門家を招いての講演会。	専門家の視点によって、より多角的に展覧会内容を考察・理解することを目的とする。	未定 (年2回程度)
10	浮世絵摺り体験	児童生徒を対象とした、摺師の指導による実物の版木を使用したの摺り体験。	実物の版木を使用して摺り体験を行うことで、浮世絵に対する児童生徒の理解を深めることを目的とする。	7月
11	浮世絵摺り実演	摺師・講師を招いての摺り実演。	浮世絵が摺り上がる工程を見てもらうことで、浮世絵に対する鑑賞者の理解を深めることを目的とする。	10月
12	展示解説	静岡市東海道広重美術館スタッフによる一般団体を対象とした展示解説。	解説を通して、展示内容に対する鑑賞者の理解を深めることを目的とする。	随時 (要事前申込)
13	ミュージアム教室	静岡市東海道広重美術館スタッフによる学校(高校以下)を対象とした展示解説。	解説を通して、浮世絵の基礎や展示内容に対する児童生徒の興味・関心を高めることを目的とする。	随時 (要事前申込)
14	こども浮世絵教室	児童生徒を対象とした、美術館でのマナー及び、広重美術館、浮世絵の基礎知識等の紹介・解説。	浮世絵や広重美術館に対する、児童生徒の興味・関心を高めることを目的とする。	未定 (年3～4回程度)
15	出前講座	美術館スタッフが希望する学校に赴き、浮世絵教室などを通して、浮世絵の紹介をする。	美術館スタッフが直接学校に赴き、浮世絵教室などを行うことで、浮世絵に対する児童生徒の興味・関心を高めることを目的とする。	随時 (要事前申込)

(静岡市美術館)

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
1	森村泰昌 Mori Ennauer - まねぶ美術史	高松市美術館の所蔵の戦後日本の現代美術家50人の作品を1人1点ずつ50点選び、森村泰昌がコメントを付けて自作とともに展示。	戦後日本の現代美術の歴史を、1人の美術家の視点から、分かりやすく紹介する。	4/7～6/10
2	七夕の美術ー日本近世・近代の美術工芸にみる	江戸後期に庶民に浸透した七夕をテーマとした美術展。中世の御伽草子の名品や、江戸時代の絵画、工芸、浮世絵、近代の日本画などにみる描かれた七夕を展示。	現代にも馴染み深い七夕を切口に、民俗学的な視点も加え、日本美術の名品を紹介する。また、音楽館、科学館との3館連携事業として実施する。	6/23～8/19
3	フィンランドのくらしとデザイナームーミンが住む森の生活	ムーミンの原画に加え、世界的に評価の高いフィンランドの家具や食器、テキスタイルなど、ザインから建築までを紹介。また、国民的画家ガレン・カレラの油彩画を日本で初めてまとまった形で紹介する。	日本でもよく知られたムーミンの物語を導入に、フィンランドの生活文化全般を紹介する。	9/1～10/8

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
4	ストラスブール美術館展—モダンアートへの招待(仮) シスレー、シニャク、マグリット、レジェ、ピカソ・・・	ストラスブール美術館の所蔵品により、ピカソ、ブラック、マグリット、シャガールなど、後期印象派から現代まで、20世紀のモダンアートの流れをたどる。	日本でも人気の高いモダンアートの巨匠たちの名品を、一堂に紹介する。	10/27～12/16
5	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美近江巡礼 祈りの至宝展	琵琶湖文化館所蔵・寄託品80点程度(うち国宝2件、重要文化財40件、滋賀県指定文化財25件程度を含む予定)で構成。近江の仏教美術(絵画・彫刻・工芸)から江戸時代の絵画まで幅広く紹介。	国宝や重要文化財等、普段目にする機会の少ない日本美術の名品の数々を一堂に展示する。	1/2～2/11
6	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展	教科書にも取り上げられること多い「ごんぎつねの世界」の作者、新美南吉の生誕百年を記念した展覧会。	絵本原画の魅力とともに、作者の生涯を分かりやすく紹介する。	2/23～3/31
7	ミュージアム教室「森村泰昌 Mori Ennauer まねぶ美術史」	各展覧会の内容を美術館スタッフが分かりやすく解説する鑑賞教室。一般開館前の午前9時から10時の時間帯を中心に、幼稚園から小中高等学校、大学、生涯学習センター等の各種講座等、団体鑑賞を受け入れる。	スタッフが解説することで、展覧会や作品への理解を深め、美術に親しむ層を育成する。	会期中随時
8	ミュージアム教室「七夕の美術」			会期中随時
9	ミュージアム教室「フィンランドのくらしとデザイン—ムーミンが住む森の生活」			会期中随時
10	ミュージアム教室「ストラスブール美術館展」			会期中随時
11	ミュージアム教室「近江巡礼 祈りの至宝」			会期中随時
12	ミュージアム教室「新美南吉 生誕100年 ごんぎつねの世界」			会期中随時
13	展示解説「森村泰昌 Mori Ennauer まねぶ美術史」	展覧会に対する理解を深めるため、展覧会担当学芸員が展示解説を行う。	スタッフが解説することで、展覧会や作品への理解を深め、美術に親しむ層を育成する。	会期中随時
14	展示解説「七夕の美術」			会期中随時
15	展示解説「フィンランドのくらしとデザイン—ムーミンが住む森の生活」			会期中随時
16	展示解説「ストラスブール美術館展」			会期中随時
17	展示解説「近江巡礼 祈りの至宝」			会期中随時
18	展示解説「新美南吉 生誕100年 ごんぎつねの世界」			会期中随時
19	ギャラリートーク「森村泰昌 まねぶ美術史」	展覧会に合わせ、学芸員による一般観覧者向けギャラリートーク等を適宜実施。また、展覧会の内容により、親子向けギャラリートーク等も実施。	スタッフが解説することで、展覧会や作品への理解を深め、美術に親しむ層を育成する。	会期中に2回～5回程度
20	ギャラリートーク「七夕の美術」			会期中に2回～5回程度
21	ギャラリートーク「フィンランドのくらしとデザイン—ムーミンが住む森の生活」			会期中に2回～5回程度
22	ギャラリートーク「ストラスブール美術館展」			会期中に2回～5回程度
23	ギャラリートーク「近江巡礼 祈りの至宝」			会期中に2回～5回程度
24	ギャラリートーク「新美南吉 生誕100年 ごんぎつねの世界」			会期中に2回～5回程度

No.	事業名	事業内容	事業目的	実施時期
25	講演会・ワークショップ等「森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史」	<p>展覧会の内容に応じ、研究者等を招聘して、専門的な内容を一般にも分かりやすく伝える講演会、シンポジウム等を開催。</p> <p>また、展覧会の内容により、アーティストを招聘し、参加体験型のワークショップを開催。</p>	<p>専門家や作家などスペシャリストによる生の声を市民にとどけることで、展覧会や作品への理解を深め、美術に親しむ層を育成する。</p>	会期中1～3回
26	講演会・ワークショップ等「七夕の美術」			会期中1～3回
27	講演会・ワークショップ等「フィンランドのくらしとデザイン—ムーミンが住む森の生活」			会期中1～3回
28	講演会・ワークショップ等「ストラスブール美術館展」			会期中1～3回
29	講演会・ワークショップ等「近江巡礼 祈りの至宝」			会期中1～3回
30	講演会・ワークショップ等「新美南吉 生誕100年 ごんぎつねの世界」			会期中1～3回
31	Shizubi Project①	<p>若手を中心に、第一線で活躍するアーティストを招聘して、明るく天井の高い「交流ゾーン」の空間を生かした体験型のインスタレーション作品を設置。</p>	<p>交流ゾーンを訪れる多くの人が、偶然に、現代の様々な表現に出会う機会を提供し、“ちょっと面白い街の中の広場”のような都市型美術館としての新しいイメージを打ち出す。</p>	夏～秋
32	Shizubi Project②			秋～冬
33	コンサート	音楽館等の協力も得て、美術館ならではのコンサートを実施。	市民に多様な文化的機会を提供し、都市型美術館として、新しいイメージを打ち出す。	年1、2回
34	シネマシリーズ	多目的室の設備を活かし、近隣の映画館等の協力により美術館ならではの映画等を上映。	美術館ならではの映画・映像作品に触れる機会を提供し、都市型美術館としての新しいイメージを打ち出す。	年3回程度
35	ピーターバラカン・トークシリーズ	ブロードキャスターとして幅広く活躍するPバラカン氏をホストに、毎回様々な分野のゲストを招くトークシリーズを開催。	県内では聞く機会の少ないホスト、ゲストによる多彩な話題を提供し、都市型美術館としての新イメージを打ち出す。	年3回程度
36	パフォーマンスシリーズ	交流ゾーンを活かし、商店街や街と関わるパフォーマンスを実施。	美術館らしい切口からパフォーマンスアートを取り上げ、街のなかの広場のような美術館として、賑わいの創出につなげる。	年1回程度
37	ワークショップ室事業	アーティストによる参加体験型のワークショップを実施。 また、美術館職員や指導員による参加体験型の講座を実施。	体験型の事業により、子どもから大人まで、美術に親しむ機会を提供する。	年6回程度
38	共同事業	科学館や音楽館をはじめ財団内各館との共同事業を実施。	駅前3館の利点を活かし、また生涯学習センターなど財団内各館との連携をはかり、より多様な文化的機会を市民に提供する。	年数回程度
39	夜店市出店	地元商店街に協力して、夜店市に出店。	美術館事業の広報の機会とするとともに、街の賑わいの創出に貢献する。	8月中旬

(参考) 文化振興財団が管理運営する施設

**1. 静岡市民文化会館** 〒420-0856 静岡市葵区駿府町2番90号 TEL251-3751

静岡市民文化会館は、市民文化の向上を図るため、昭和53年11月3日に開館した施設で、1,978人収容の大ホール、1,184人収容の中ホール、360人収容の大会議室をはじめとする7つの会議室、リハーサル室、そして3つの展示室等を備えています。貸館として主に運営していますが、館の自主事業としては毎年、歌舞伎を開催しています。

(財団の管理受託の開始=平成8年4月、平成18年4月より指定管理者、平成23年4月より再指定)

**2. 静岡市清水文化センター** 〒424-0836 静岡市清水区桜が丘町7番1号 TEL354-1311

市民文化会館と同様に市民の文化の向上を目的とし、昭和41年6月1日に大ホール1,520席、昭和53年6月18日に中ホール510席、ギャラリー2室その他会議室、和室、リハーサル室を備え開館しました。毎年の自主事業ではコンサートや映画・美術鑑賞で市民に好評を博しています。

(平成18年4月より文化会館共指定管理者、平成23年4月より再指定、平成24年7月末閉館予定)

**3. 静岡音楽館** 〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9 TEL251-2200

静岡音楽館は、人の集まるまちづくりと地域文化の振興を図るために平成7年建設された音楽専用ホールで、静岡中央郵便局との合同建物は全国で初めてのものです。パイプオルガンが設置されている618席のシューボックスタイプのホールと最大300人収容可能な講堂、リハーサル室、楽屋等があります。ここでは、全国的にみても質の高い自主事業開催と貸館事業を通して音楽のすばらしさを創造する拠点となるよう努めています。また、コンサートや講座等を通して感性豊かな青少年の育成にも力を入れています。平成21年度地域創造大賞(総務大臣賞)受賞。

(財団の管理受託の開始=平成7年4月、平成18年4月より指定管理者、平成23年4月より再指定)

**4. 静岡科学館** 〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号 TEL284-6960

静岡科学館は、「市民自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力および感性の向上に資すること」を目的に、平成16年3月に静岡駅南口再開発ビル エスパティオ8~10階に設けられた施設です。約60点の常設展示物はいずれも参加体験型となっており、それらを生かした展示支援と多彩かつ豊富な事業展開で、全国でも有数の地方科学館としての地位を確立しています。科学を核とした小さな市民のための文化の発信基地として、また、体験を通じて科学の魅力に触れ、科学的な能力を育む場として、多くの市民が集う施設となるよう努めています。

(平成16年3月より指定管理者、平成20年4月より再指定)

**5. 静岡市生涯学習センター (11館)**

**葵生涯学習センター** 〒420-0865 静岡市葵区東草深町3番18号 TEL246-6191

葵生涯学習センターは、葵区の中心市街地に位置し、行政機関や商業施設などが集積する地域と、

周辺住宅地とが交わる場所に立地しています。施設が大きく機能も充実しており、交通の便も良いため、地元住民のほか市街地に集う勤労者や学生など、市内全域から多様な目的を持った市民に利用されています。

この現状を踏まえ、行政や関係各機関との連携のもと、環境や食育、子育てなど市民全般に係わる課題を取り上げた事業を実施しています。施設を活動拠点としている団体の数も多いため、団体像を的確に把握した上で目的が合致すれば連携し、団体の専門性をまちづくりに活かすことを目指した事業も積極的に推進しています。同時に、周辺の史跡や里山の自然、地域の人材などを活用し、地域性を重視した事業にも取り組んでいます。

**西部生涯学習センター** 〒420-0068 静岡市葵区田町三丁目 46 番地の 5 TEL255-3960

西部生涯学習センターは、葵区の中心市街地西側に位置し、田町・新富町を核とした地場産業を中心とする職人町をサービスエリアに持ち、地域のまとまりや協力性があるのが特徴です。地場産業や伝統工芸、歴史を紹介・継承する事業を展開することで、地域の魅力の再確認とその発信に努め、まちづくりの推進に努めています。平成23年1月23日、新施設へ移転しました。

**東部生涯学習センター** 〒420-0803 静岡市葵区千代田七丁目 8 番 15 号 TEL263-0338

東部生涯学習センターは、葵区の中心市街地東側の住宅地にあり、周辺には遊水地や田園風景も見られます。地域住民の学習意欲が強く、サークル活動が活発で市内の文教地区とも呼ばれています。それらの特徴を活かした各種事業を展開し、文化の発信・継承と魅力あるまちづくりの推進に積極的に取り組んでいます。（平成23年6月～平成24年3月まで、耐震補強工事実施につき施設は休館予定）

**北部生涯学習センター** 〒420-0871 静岡市葵区昭府二丁目 14 番 1 号 TEL271-5111

北部生涯学習センターは、葵区の中心市街地北側に位置し、井川・梅ヶ島など北奥に広いエリアをもちます。安倍奥の歴史には山岳信仰にまつわる伝承のほか、地域特有の風習や祭事などの歴史ある文化が今も数多く残っています。また、南アルプスなど豊かな自然環境にも恵まれた地域です。今後は新東名（第二東名）の開通により人の往来が増えることが予想されます。これらを踏まえ、地域間の活発な交流と魅力発信を軸とした事業に積極的に取り組んでいます。

**藁科生涯学習センター** 〒421-1217 静岡市葵区羽鳥本町5番9号 TEL278-4141

藁科生涯学習センターは、居住人口が増加する服織地域周辺と、従来からの農山村地域の境目に位置し、清流・藁科川や、まわりの山々が身近に感じられる地域です。また、木枯らしの森をはじめとした名所旧跡等、歴史的、文化的資産も充実しています。これらの地域資源を活用した体験重視の講座を精力的に実施し、地域のすばらしさの再認識と交流を生むまちづくりへとつながるような事業展開を図っています。

**西奈生涯学習センター** 〒420-0911 静岡市葵区瀬名二丁目 32 番 43 号 TEL265-2468

西奈生涯学習センターは、清水区と隣接する葵区の東端に位置し、幼稚園から大学までが集積する文教地域にあり、地域の文化団体の活動も活発です。これらの特色を活用し、教育機関や地域の団体と共催事業を積極的に展開しています。また、長尾川や梶原山など豊かな自然に恵まれており、自然体験講座など地元の魅力を発信する事業にも取り組んでいます。

**南部生涯学習センター** 〒422-8074 静岡市駿河区南八幡町 25 番 21 号 TEL281-2184

南部生涯学習センターは、駿河区の中心部、区役所や大型ショッピングセンターが開設され、新しい市街地が形成された地域に位置します。地元住民をはじめ駿河区全域から利用者が集まっています。登呂遺跡をはじめとした著名な施設が豊富にあり、古さと新しさの同居する地域の特性を市民に紹介し、まちづくりにつながる事業展開に努めています。

**長田生涯学習センター** 〒421-0137 静岡市駿河区寺田 131 番地の 1 TEL257-0780

長田生涯学習センターは、駿河区の西側、安倍川右岸の郊外住宅地にあり、地元住民に多く利用されています。ここは地域住民のつながりが強い地域であり、まちづくりも活発です。また、古事記の時代からの歴史的風景が数多く残り、風光明媚な場所でもあります。この特性を活かし、地域を誇りに思い、一層愛着を持つ人が増えるような事業の展開に積極的に取り組んでいます。

**大里生涯学習センター** 〒422-8051 静岡市駿河区中野新田 57 番地の 5 TEL283-1698

大里生涯学習センターは、駿河区の安倍川東側に位置し、近年は著しい宅地化の見られる地域に立地しています。施設は、全国的にも稀な中学校との複合施設です。そのような特色を活かし、次世代を担う子どもたちや地域住民が交流、連携をすることで、新しいまちづくりの動きにつながるような事業の実施に努めています。

**駿河生涯学習センター** 〒422-8021 静岡市駿河区小鹿二丁目 25 番 45 号 TEL202-4300

駿河生涯学習センターは、駿河区の東側にあり、近年の急速な都市開発により、住民の流動性が高い地域です。また、勤労者福祉センターと老人福祉センターとの複合施設であるため、地域住民のほか、多様な市民が集まるため、事業にも多様性が求められます。静岡大学をはじめとする高等教育機関の充実した地域であることから、これらの機関と連携し、専門的な分野についても学習機会を提供するとともに、学生等、若い世代の社会参加を促し、地域とつながる事業展開に取り組んでいます。

(平成 21 年 4 月より指定管理者)

### **美和生涯学習センター（北部生涯学習センター美和分館）**

〒421-2113 静岡市葵区安倍口団地 5 番 1 号 TEL296-7122

北部生涯学習センター美和分館は、葵区郊外・安倍川右岸美和地区の新たな「知の拠点」となること、また住民に親しまれ地域のランドマークとなることを目指し、平成 21 年 9 月にオープンした新しい施設です。図書館・市民サービスコーナーとの複合施設になっており、「アカデ美和」（※アカデミー・アカデミック・アカデミアのそれぞれの意味に美和地区の学びの拠点になることを祈願した造語）の愛称を冠して、美和地区住民のふれあいの場として、またまちづくりのための学習やコミュニティ活動の拠点となる施設をめざしています。

(平成 21 年 9 月より指定管理者・財団内における組織名は「美和生涯学習センター」)

### **6. 静岡市南部勤労者福祉センター** 〒422-8021 静岡市駿河区小鹿二丁目 25 番 45 号 TEL202-4300

勤労者をはじめとした市民を対象に、文化教養の向上、健康増進、余暇利用の充実を図るための施設です。エアロビクス講座やパソコン講習などの開催、トレーニング機器を利用した健康づくりやインターネットに接続したパソコンの個人利用ができます。

(平成 21 年 4 月より指定管理者)

**7. 静岡市小鹿老人福祉センター** 〒422-8021 静岡市駿河区小鹿二丁目 25 番 45 号 Tel202-4300

60 歳以上の方を対象に、健康で生きがいを持った明るい生活を送っていただくための、健康の増進・教養の向上・仲間づくりの支援の場です。ちぎり絵や囲碁など各種講座の開催や、利用者が自主的にグループをつくり様々な活動を行っています。

(平成 21 年 4 月より指定管理者)

**8. 静岡市東海道広重美術館** 〒421-3103 静岡市清水区由比 297-1 Tel375-4454

平成 6 年に、東海道の宿場町「由比宿」の本陣跡地である由比本陣公園内に開館した美術館で、江戸時代の浮世絵師・歌川広重（1797-1858）の名を冠した日本で最初の美術館です。

収蔵品は風景版画の揃物の名品を中心に約 1,400 点を数え、常に新しい視点で浮世絵芸術の素晴らしさを満喫していただけるよう、バラエティーに富んだ企画展を開催しています。また、講演会やギャラリートーク等の関連事業も実施しています。

館内には展示室の他、「浮世絵の基礎知識」「ガイダンスルーム」等があり、浮世絵版画摺りの技術や江戸文化への理解を深めていただける工夫がされています。

(平成 22 年 4 月より指定管理者)

**9. 静岡市美術館** 〒420-0852 静岡市葵区紺屋町 17-1 Tel273-1515

静岡市美術館は、JR 静岡駅北口の 25 階建ビル「葵タワー」3 階に、平成 22 年 5 月に開館、同年 10 月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念とし、展覧会、教育普及、調査研究活動を行っています。

展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。

また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。

駅から徒歩 3 分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

(平成 22 年 5 月より指定管理者 平成 22 年 5 月開館)